

平成15年度
長崎大学概要



長崎大学の理念

長崎大学は、長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的發展に貢献する。

学 年 暦



4月1日(火) 学年始

4月8日(火) 入学式

5月31日(土) 開学記念日

8月11日(月) } 夏季休業
9月30日(火) }

10月1日(水) 後期授業開始

11月21日(金) } 学園祭
11月24日(月) }

11月21日(金) 臨時休業日

12月25日(木) } 冬季休業
1月7日(水) }

3月21日(日) } 春季休業
4月7日(水) }

3月25日(木) 卒業式

3月31日(水) 学年終

目 次

1 組織・沿革

機構図.....	2
沿革図.....	3
沿革.....	4
歴代学長.....	8
運営諮問会議委員.....	9
役職員.....	10

2 教育研究等

学部	
教育学部.....	12
経済学部.....	13
医学部.....	14
歯学部.....	15
薬学部.....	16
工学部.....	17
環境科学部.....	18
水産学部.....	19
大学院	
教育学研究科.....	20
経済学研究科.....	20
環境科学研究科.....	21
生産科学研究科.....	21
医歯薬学総合研究科.....	22
専攻科	
水産専攻科.....	22

3 職員・学生数等

職員数.....	23
学生数.....	24
平成15年度入学者状況.....	26
平成14年度卒業生（修了者）及び進路状況.....	28
就職者産業別内訳.....	29
過去5年間の進路状況の推移.....	29
学位授与数.....	30

4 研究所等

附置研究所.....	31
学内共同教育研究施設等.....	32
学部等附属教育研究施設.....	33

5 附属施設等

附属図書館.....	34
附属病院.....	35
附属学校.....	37

6 厚生補導施設等.....38

7 国際交流

平成15年度外国人留学生.....	40
外国の大学等との学术交流協定締結状況.....	41

8 財 政

外部資金等.....	44
歳入歳出決算額.....	45

9 公開講座.....46

10 併設短期大学.....47

11 キャンパス

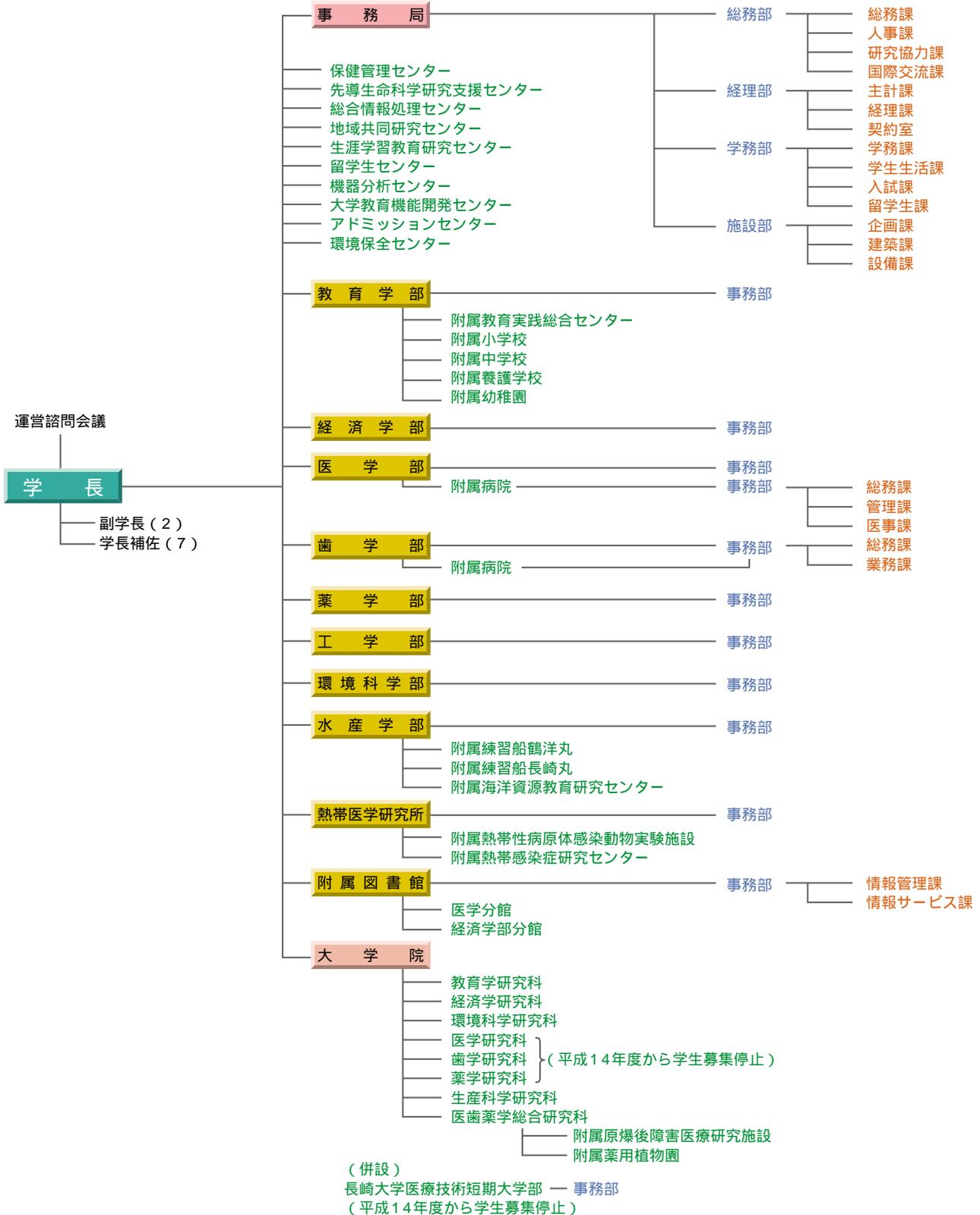
土地・建物・船舶.....	48
長崎大学地区別配置図.....	49
部局等所在地一覧.....	52
長崎大学位置図.....	53

12 長崎大学交通案内.....55

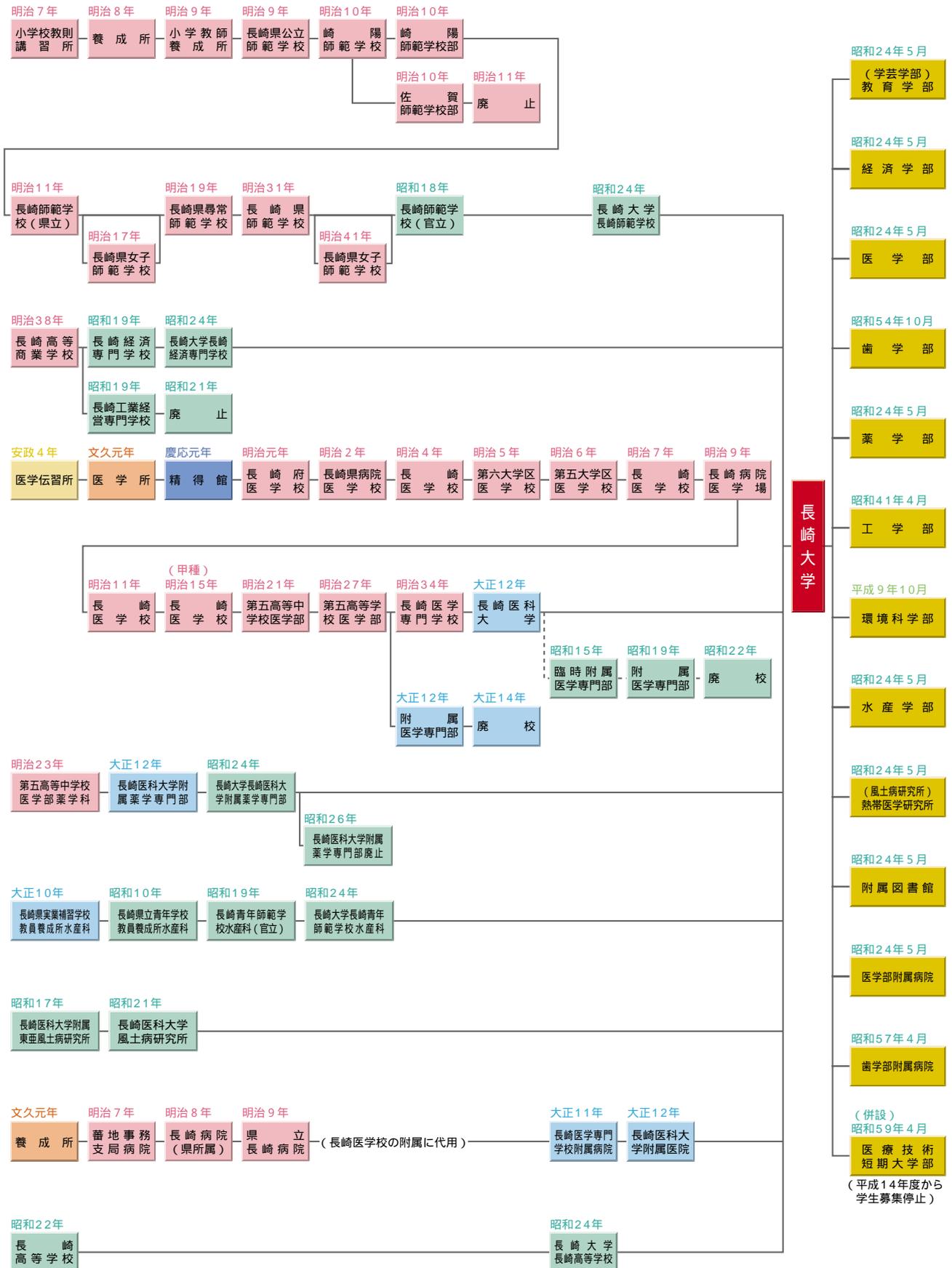
1

組織・沿革

機構図



沿革図



沿革

長崎大学は、昭和24年（1949年）5月31日国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により、旧制の長崎医科大学、長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校、長崎高等学校を包括し、学芸学部（甲類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科、乙類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科）、経済学部（経済学科、商学科）、医学部（医学科）、薬学部（薬学科）、水産学部（漁業学科、水産製造学科、水産増殖学科）の5学部（5）に附属図書館を置き、風土病研究所が附置され、学部附属の学校又は教育施設として、学芸学部（小学校・中学校・幼稚園）、医学部（病院・病院分院・看護婦養成施設）をもつ新制大学として設置された。

その後の沿革概要は、次のとおりである。



正門門標

昭和25. 3
(1950年)

- 3 長崎高等学校廃止
- 5 大村一般教養部、長崎一般教養部を統合して大村分校設置

昭和26. 3
(1951年)

- 3 長崎大学商業短期大学部併設
- 3 医学部附属看護学校設置
- 3 長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校廃止

6

- 6 厚生補導部を補導部と改称
- 6 水産学部に専攻科（特設専攻科）設置
- 6 長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称

28. 4
(1953年)

29. 4
(1954年)

- 29. 4 経済学部に経済学専攻科設置

30. 4
(1955年)

- 30. 4 医学部に講座制施行
- 30. 4 大学院医学研究科設置
- 30. 4 医学部に附属助産婦学校設置

31. 1
(1956年)

- 31. 1 補導部を学生部と改称
- 31. 1 薬学部に薬学専攻科設置

35. 3
(1960年)

- 35. 3 長崎医科大学廃止
- 35. 3 水産学部に水産専攻科設置

37. 4
(1962年)

- 37. 4 医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置

39. 4
(1964年)

- 39. 4 教養部設置（分校廃止）
- 39. 4 水産学部に附属練習船「長崎丸」設置

40. 3
(1965年)

- 40. 3 薬学専攻科廃止
- 40. 3 大学院薬学研究科設置

4

- 40. 3 学芸学部に学芸専攻科設置

41. 4
(1966年)

- 41. 4 保健管理センター設置
- 41. 4 工学部（機械工学科、電気工学科）設置
- 41. 4 学芸学部を教育学部と改称、これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称

42. 4
(1967年)

- 42. 4 教育学部に養護学校教員養成課程設置
- 42. 4 薬学部に製薬化学科設置
- 42. 4 工学部に構造工学科設置

6

- 6 風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
- 6 水産学部に附属水産実験所設置

43. 4
(1968年)

- 43. 4 経済学部に貿易学学科設置

44. 4
(1969年)

- 44. 4 工学部に土木工学科設置

12

- 12 電子計算機室設置

45. 4
(1970年)

- 45. 4 水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止）

46. 2
(1971年)

- 46. 2 大学院水産学研究科設置
- 46. 2 工学部に材料工学科設置
- 46. 2 附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置）

4

- 46. 2 教育学部に附属養護学校設置
- 46. 2 経済学部商学科を経営学科と改称
- 46. 2 大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置
- 46. 2 工学部に工学専攻科（機械工学、電気

47. 4 (1972年) 5	工学, 構造工学) 設置 ・工学部に工業化学科設置 ・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部に附属薬用植物園設置	55. 4 (1980年)	分析センター廃止) ・医学部に附属動物実験施設設置 ・歯学部に附属病院創設準備室設置
48. 4 (1973年)	・水産学部の漁業学科, 水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置	56. 4 (1981年) 57. 4 (1982年)	・工学研究科に電子工学専攻設置 ・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止 ・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程(経済専攻, 経済法学専攻, 経営情報専攻)に改組
49. 4 (1974年)	・大学院水産学研究科漁業学専攻, 水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置	58. 4 (1983年)	・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置 ・医療技術短期大学部(看護学科)併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称
50. 4 (1975年) 6	・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」設置 ・排水等分析センター設置	59. 4 (1984年)	・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組 ・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置
51. 4 (1976年)	・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置	10 61. 4 (1986年)	・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻(博士課程前・後期)設置(薬学専攻及び製薬化学専攻を改組) ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置(附属教育工学センター廃止)
52. 4 (1977年)	・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置 ・商業短期大学部商業学科を商経学科(経済・法律専攻, 経営情報専攻)と改称	6 9	・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置 ・環境保全センター設置(排水等分析処理センター廃止) ・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻(後期3年博士課程)設置 ・医療技術短期大学部に専攻科(助産学特別専攻)設置
53. 3 (1978年) 4	・R I センター設置 ・工学部に機械工学第二学科設置	62. 4 (1987年)	・大学院海洋生産科学研究科(後期3年博士課程)設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は, 海洋生産科学研究科へ移行
54. 4 (1979年)	・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称	63. 4 (1988年)	
5	・情報処理センター設置(電子計算機室廃止)		
10	・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止		
11	・排水等分析処理センター設置(排水等		

平成元 . 5
(1989年)

- ・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組
- ・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止）
- ・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組

2 . 4
(1990年)

- ・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組

6

- ・地域共同研究センター設置

3 . 4
(1991年)

- ・経済学部経済学科 8 学科目を 3 大学科目に，経営学科 8 学科目を 2 大学科目に，貿易学科 6 学科目をファイナンス学科 2 大学科目に改組，2 共通学科目を廃止

- ・工学部構造工学科 4 講座を 2 大講座に，土木工学科 4 講座を社会開発工学科 2 大講座に，材料工学科 4 講座を 2 大講座に，工業化学科 4 講座を応用化学科 2 大講座に改組

- ・アイソトープ総合センター設置（R I センター廃止）

4 . 4
(1992年)

- ・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称

5 . 4
(1993年)

- ・生涯学習教育研究センター設置

6 . 4
(1994年)

- ・大学院教育学研究科設置

- ・教育専攻科廃止

- ・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称

6

- ・熱帯医学研究所10部門を 3 大部門に改組

7 . 4
(1995年)

- ・大学院経済学研究科設置

- ・経済学専攻科廃止

- ・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に，工業化学専攻を応用化学専攻に改称

8 . 5
(1996年)

- ・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止）

9 . 4
(1997年)

- ・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止）

10

- ・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止）

- ・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止）

- ・環境科学部（環境科学科）設置

- ・教養部廃止

- ・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施）

10 . 4
(1998年)

- ・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組

- ・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置

- ・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組

- ・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止）

11 . 4
(1999年)

- ・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称

- ・副学長の設置（学生部長の廃止）

- ・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止）

12 . 4
(2000年)

- ・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科教育専修及び理科教育専修設置

- ・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置

- ・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置

- ・遺伝子実験施設設置

- ・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止

13 . 4
(2001年)

- ・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組

- ・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止）

- ・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究

10
14. 4
(2002年)

- センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止）
- ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組
- ・医学部に保健学科設置
- ・大学院環境科学研究科設置
- ・大学院医歯薬学総合研究科設置
- ・大学教育機能開発センター設置
- ・アドミッションセンター設置
- ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組
- ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組
- ・薬学部薬科学科の4大講座を2大学科目に改組
- ・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行）
- ・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止）

15. 4
(2003年)



長崎大学キャンパス正面ロータリー塑像
「若人」(山本稚彦 制作)

歴代学長



齋藤 寛 学長

初代	高瀬 清	(任期：昭和24年6月29日～昭和27年6月5日)
(事務取扱)	池田 晋吾	(任期：昭和27年6月6日～昭和27年11月17日)
第2代	古屋野 宏平	(任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日)
第3代	北村 精一	(任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日)
第4代	和泉 成之	(任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日)
第5代	後藤 敏郎	(任期：昭和41年11月18日～昭和44年4月3日)
(事務取扱)	栗原 道徳	(任期：昭和44年4月4日～昭和44年5月6日)
第6代	中塚 正行	(任期：昭和44年5月7日～昭和49年7月31日)
(事務取扱)	保田 正人	(任期：昭和49年8月1日～昭和49年10月10日)
第7代	具島 兼三郎	(任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日)
第8代	福見 秀雄	(任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日)
第9代	保田 正人	(任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日)
第10代	土山 秀夫	(任期：昭和63年10月11日～平成4年10月10日)
第11代	横山 哲夫	(任期：平成4年10月11日～平成10年10月10日)
第12代	池田 高良	(任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日)
第13代	齋藤 寛	(任期：平成14年10月11日～現在)

運営諮問会議委員



会議風景

平成15年7月1日現在

会 長 福 地 茂 雄	アサヒビール(株)代表取締役会長
副 会 長 横 山 哲 夫	玉木女子短期大学長
愛 川 展 功	三菱重工業(株) 長崎造船所長
雨 宮 忠	日本体育・学校健康センター理事長
片 岡 千 鶴 子	長崎純心大学長
金 子 原 二 郎	長崎県知事
草 野 仁	テレビキャスター
定 方 郁 夫	長崎県高等学校長協会会長・長崎県立長崎南高等学校長
野 崎 元 治	長崎商工会議所会頭・十八銀行取締役会長
ブライアン F バークガフニ	長崎総合科学大学人間環境学部 教授

役員

学 長	齋 藤 寛	生産科学研究科長	石 原 忠	学 長 補 佐	藤 野 哲 也
副 学 長(企画)	崎 山 毅		石 田 正 弘	"	福 永 博 俊
副 学 長(教学)	片 峰 茂		藤 田 雄 二	"	吉 田 雅 章
評 議 員		医歯薬学総合研究科長	谷 山 紘太郎	"	松 岡 數 充
学 長	齋 藤 寛		朝 長 万左男	"	中 村 卓
副 学 長	崎 山 毅		六反田 篤	"	中 山 守 雄
"	片 峰 茂		河 野 功	事 務 局	
教育学部長	橋 本 健 夫	熱帯医学研究所長	青 木 克 己	事務局 長	森 田 秀 亮
	宮 崎 正 明	附属図書館長	岡 林 隆 敏	総務部 長	脇 坂 信 夫
	尾 崎 洋 二	医学部附属病院長	澄 川 耕 二	総務課 長	米 澤 宏
経済学部長	杉 原 敏 夫	歯学部附属病院長	藤 井 弘 之	人事課 長	岡 村 克 美
	菅 家 正 瑞	医療技術短期大学部部長	寺 崎 明 美	研究協力課長	倉 持 光 雄
	田 口 信 夫	厚 生 施 設		国際交流課長	高 橋 輝
医学部長	兼 松 隆 之	保健管理センター所長	石 井 伸 子	経 理 部 長	清 水 勇 行
	石 丸 忠 之	学内共同教育研究施設等		主 計 課 長	山 代 文 雄
歯学部長	熱 田 充	先導生命科学 支援センター長	佐 藤 浩	経 理 課 長	佐久間 信 吉
	林 善 彦	総合情報処理 センター長	黒 田 英 夫	契 約 室 長	陣 野 勝 久
薬学部長	中 島 憲 一 郎	地域共同研究 センター長	江 頭 誠	学 務 部 長	本 地 悦 郎
	中 村 純 三	生涯学習教育 研究センター長	糸 山 景 大	学 務 課 長	小 野 弘
工学部長	小 山 純	留学生センター長	松 村 功 啓	学生生活課長	坂 口 豊
	江 頭 誠	機器分析センター長	畑 山 範	入 試 課 長	濱 田 道 夫
環境科学部長	井 上 義 彦	大学教育機能 開発センター長	片 峰 茂	留 学 生 課 長	高 宮 良 一
	佐久間 正	アドミッション センター長	片 峰 茂	施 設 部 長	中 岡 一 男
	山 崎 素 直	環境保全センター長	武 政 剛 弘	企 画 課 長	山 口 正 春
水産学部長	槌 本 六 良	学 長 補 佐		建 築 課 長	伊 藤 猛 夫
	片 岡 千 賀 之	学 長 補 佐	玉 利 正 人	設 備 課 長	篠 原 彰 一

平成15年7月1日現在

学 部 等	総務課長 河野雅史	附 属 図 書 館
教 育 学 部	業 務 課 長 村 上 弘 行	附 属 図 書 館 長 岡 林 隆 敏
教育学部長 橋本健夫	歯学部附属病院	事務部長 安永勉
事務長 佐藤三郎	附属病院長 藤井弘之	情報管理課長 重里信一
附属小学校長 村田義幸	薬剤部長 藤下修	情報サービス課長 森高桂子
附属中学校長 田原靖昭	看護部長 田添京子	医学分館長 中村卓
附属養護学校長 相川勝代	薬 学 部	経済学部分館長 柴多一雄
附属幼稚園長 進野智子	薬学部長 中島憲一郎	長崎大学医療技術短期大学部
附属教育実践総合センター長 福井昭史	事務長 大塚二三男	学 長 齋藤寛
経 済 学 部	工 学 部	部 長 寺崎明美
経済学部長 杉原敏夫	工学部長 小山純	事務長 吉永五十六
事務長 吉田碩	事務長 嶋本勇	大 学 院
医 学 部	環 境 科 学 部	教育学研究科長 橋本健夫
医学部長 兼松隆之	環境科学部長 井上義彦	経済学研究科長 杉原敏夫
事務長 小川源吾	事務長 柴田元昭	医学研究科長 兼松隆之
医学部附属病院	水 産 学 部	歯学研究科長 熱田充
附属病院長 澄川耕二	水産学部長 槌本六良	薬学研究科長 中島憲一郎
事務部長 山内正美	事務長 佐藤久人	環境科学研究科長 井上義彦
総務課長事務取扱 山内正美	附属練習船長 秋重祐章	生産科学研究科長 石原忠
管理課長 寺坂和記	附属練習船長 高木保昌	医歯薬学総合研究科長 谷山紘太郎
医事課長 野崎健次	附属海洋資源教育研究センター長 中田英昭	附属原爆後障害医療研究施設長 朝長万左男
薬剤部長 佐々木均	附 置 研 究 所	附属薬用植物園長 河野功
看護部長 下田澄江	熱帯医学研究所長 青木克己	九州地区国立大学島原共同研修センター
歯 学 部	事 務 長 清 水 洋 治	所 長 片 峰 茂
歯学部長 熱田充	附属熱帯性病原体感染動物実験施設長 中村三千男	
事務部長 松浦孝則	附属熱帯感染症研究センター長 嶋田雅暁	

2

教育研究等

学部

教育学部

教育学部は、長崎県及び各地の教育界を支える教員の養成の場として100年を超える歴史を持っています。この間、教員を目指す多くの若人たちが講義を受け実習を行って自らを磨き、希望と情熱を持って子どもたちの待つ学校へ巣立っていきました。

平成10年には、小・中学校の教員養成を目的とした学校教育教員養成課程のほかに人と人を結び、人を育てるといった視点を持った社会人の育成を目指す新しい課程、情報文化教育課程も発足させました。前者には、初等教育、中学校教育、障害児教育の3つのコースがあり、義務教育段階の教育に大きく貢献できる教員の養成を行っています。後者は情報メディア、クロスカルチャー、芸術文化の3コースから成り、ITリテラシーや国際理解力を持った社会のリーダーの育成を行っています。

学部・課程・講座

学部	課程	講座
教育学部 2課程 11講座	学校教育教員養成課程 情報文化教育課程	国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 音楽教育 美術教育 保健体育 技術教育 家政教育 英語教育 学校教育



教育学部



教育実習風景

経済学部

経済学部は、明治38年（1905年）に東京高等商業学校（現一橋大学）、神戸高等商業学校（現神戸大学）に次ぐ第3番目に設立された「長崎高等商業学校」を母体とし、戦後の学制改革により「長崎大学経済学部」として新たな歴史を歩んできました。

長崎大学唯一の社会科学系学部として「実践的エコノミストの養成」という建学の精神を引き継ぎ、グローバル化・情報化の進展する現代経済社会にふさわしい実践的問題解決能力を持った人材の育成を行っています。

社会のニーズに対応した6つのコースを持つ教育システムに加え、民間企業・シンクタンクの実務経験者をはじめ中央官庁からの現役出向教官、外国人教官など教育スタッフの多彩性もまた経済学部の特徴、魅力です。

学部・学科・講座

学部	学科	講座
経済学部 1 学科 6 講座	総合経済学科	理論・計量経済 地域・経済政策 経済協力・国際コミュニケーション 金融システム 企業行動・意思決定 経営管理・企業会計



経済学部



演習風景

医学部

医学部は、日本で最も古い公立医学校です。安政4年（1857年）11月12日、江戸時代の末期にオランダ海軍軍医ボンベが最初に西洋医学の講義を行ったのが始まりです。当時、日本全国の俊英が長崎に集り、医学を学んでから日本の各地での医療の普及に務めました。それから現在に至るまで長崎大学医学部は国際的に活動しています。

例えば、シーボルトが長崎で医学教育をした実績から、シーボルトにゆかりの深いドイツ・ビュルツブルグ大学やオランダ・ライデン大学の各医学部学生との交換留学を実施しています。また、本学部が受けた被爆の経験を十分に生かして、原爆後障害医療研究施設を中心に、放射線障害についても国際的な研究が行っています。それらの研究成果が評価され、平成14年4月には大学院大学（大学院医歯薬学総合研究科）が新設されました。

また、平成13年10月には生命や人間の尊厳に基づく心豊かな教養を備え、高度な専門的知識・技能を修得し、広く社会に貢献できる資質の高い医療専門職者を育成するため、保健学科が新設されました。

学部・学科・学科目・講座

学部	学科	学科目
医学部 2 学科 4 学科目 8 講座	医 学 科	構造・機能・代謝学 病態解析医学 疾病制御医学 社会医学
	保 健 学 科	講 座 基礎看護学 臨床看護学 母子看護学 地域看護学 基礎理学療法学 臨床理学療法学 基礎作業療法学 臨床作業療法学



医 学 部



OSCE（客観的臨床能力試験）風景

歯学部

歯学部は、歯学の進歩と地域歯科医療への貢献を使命として昭和54年10月に設置されました。平成14年4月に従来の医学・歯学・薬学の3研究科を再編統合した大学院医歯薬学総合研究科の設置に伴い、3大学科目制で大学院教員による学部教育が実施されています。教育目標は、基本的教養と隣接分野の幅広い知識を修得させるとともに、歯学に関する高度の専門知識と基礎となる技術を修得させ、責任感と社会性を身に付けた、患者さんから信頼される歯科医師及び創造性豊かで的確な判断力と洞察力を有する歯学研究者を養成することです。この目標を達成するために、一般教育及び歯科医学の周辺領域にわたる学問を教授すると並行して歯科医学の専門知識と歯科医療に関する各種専門技能を教授しています。

学部・学科・学科目

学部	学科	学科目
歯学部 1 学科 3 学科目	歯 学 科	顎口腔生体科学 顎口腔環境科学 顎口腔再生医療科学



歯 学 部



臨床実習風景

薬学部

薬学部は、百十余年の伝統を持ち、「ヒトの健康を目指して」を理念として掲げ、化学物質の合成、遺伝子組換え法等を用いて、有効で副作用の少ない安全な薬の研究・開発を目指しています。

一方、環境衛生等に従事する者や医薬品の製造販売・服薬指導等に携わる薬剤師の育成も薬学部の重要な役目の一つです。そのため、臨床薬学教育や医薬品情報解析教育も積極的に取り入れています。

平成14年度には、薬学・医学・歯学の各大学院を再編統合して、大学院医歯薬学総合研究科が設置され、これを機に複数の研究室によるプロジェクト研究等が活発に行われています。

薬学部においても、より高度な教育・研究体制の整備拡充、幅広い視野をもつ薬学研究者の育成に意欲的に取り組んでいます。

学部・学科・学科目

学部	学科	学科目
薬学部 1 学科 2 学科目	薬 科 学 科	薬物創製科学 薬物作用解析学



薬学部



実験風景

工学部

工学部は、昭和41年4月に設置され、現在は機械システム工学科、電気電子工学科、情報システム工学科、構造工学科、社会開発工学科、材料工学科及び応用化学科の7学科で構成されています。

本学部では、アジアの鼓動響く街長崎で、知と心と工学センスを育み、未来を拓く科学技術を創造することによって、社会の持続的発展に貢献することを理念とし、広範な基本的教養及び専門の基盤となる幅広い知識、工学に関する専門的知識を修得させるための基礎的教育を行い、課題探求能力、コミュニケーション能力、技術者倫理観を身につけた、国際的にも通用する工学技術者人材の育成を行っています。

学部・学科・講座

学部	学科	講座
工学部 7学科 18講座	機械システム工学科	設計システム学 生産システム学 エネルギーシステム学
	電気電子工学科	電気エネルギー基礎学 制御システム学 電子回路デバイス学 通信工学
	情報システム工学科	計算機工学 数理・応用ソフトウェア工学 情報応用システム学
	構造工学科	構造解析学 構造システム学
	社会開発工学科	社会基盤工学 環境開発工学
	材料工学科	材料物性・機能工学 材料開発工学
	応用化学科	機能分子工学 生物分子工学



工学部



福祉機器の研究開発

環境科学部

環境科学部は、「環境の世紀」と称される21世紀の時代の要請に応じて設立された，国立大学で最初の文理融合型の環境科学部であり，身近なレベルから地球レベルに至るまで深刻化している環境問題を克服し地球環境の保全と人間社会の持続的発展に貢献する環境科学の教育研究を行っています。学生の所属する教育コースは環境政策及び環境保全設計の2コースがあり，環境政策コースでは，環境共生的な人間社会の持続的な発展を可能にする，社会経済システム，政策と法制度，文化と思想に関して，また環境保全設計コースでは，物質循環及び自然環境の構造と相互作用，自然環境の保全と環境に配慮した都市開発や環境設計，環境にやさしい技術や製品の開発に関して学び，未来志向の問題解決型環境スペシャリストの育成を目指しています。

学部・学科・講座

学部	学科	講座
環境科学部 1 学科 4 講座	環 境 科 学 科	環境政策 文化環境 環境設計 自然環境保全



環境科学部



実験風景

水産学部

水産学部は、水圏に関する体系化された教育・研究を通して社会に広く貢献できる個性ある人材を養成するとともに、地域と国際社会を発展させ、人類の生存と福祉に貢献することを理念としています。昭和24年の設立当初の教育・研究は、戦後の食糧難の社会情勢を背景に、漁業生産の向上と生産物の有効利用を図る実践的色彩の強いものでした。その後、急速な経済発展に伴い、海洋の生産性の向上・保全へと拡大し、今日では、海洋環境・生物の保全をも包含した複合的・学際的領域へと変遷しています。

本学部は、常に社会の要請に応えた改組や改革を行い、21世紀における水産・海洋科学の中心的な役割を担う教育・研究組織として活動しています。

学部・学科・講座

学部	学科	講座
水産学部 1 学科 4 講座	水 産 学 科	海洋生産システム学 海洋資源動態科学 海洋生物機能科学 海洋物質科学



水産学部



乗船実習風景

教育学研究科

教育学研究科は、平成6年度に2専攻5専修の形で開設され、平成12年度には全ての教科の専修が揃った2専攻10専修の研究科になりました。学部 비해歴史は新しいですが、教育実践力をさらに伸ばしたいという学部卒業生及び現職教員を受け入れ、教育実践に関する講義はもちろんのこと現代的な教育課題の解決に必要な諸能力育成に向けたゼミナール等で編成したカリキュラムを用意し、将来の地域の教育界の指導者を育成しています。

各専攻・専修では、教科の知識・技能の修得だけではなく、それぞれの教育実践に欠かすことのできない能力が確実に身に付くよう講義等に工夫を凝らしています。特に、「実践授業研究」では、大学教員や附属校・園の教員とともに新しい授業を作り出す楽しみが追求できるようになっています。

研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻 教科教育専攻



声楽の演習風景

経済学研究科

経済学研究科は、経済学部を母体として平成7年度に設置され、経済学と経営学を総合した経済経営政策専攻という1専攻制をとり、「高度専門職業人の養成」を教育理念として基礎的知識、専門的知識、実践的問題解決能力及び研究能力を育成する教育システムを整備しています。

特定の専門領域において深く問題を追及する研究能力の養成を目的とする「研究コース」と、特定の専門領域における幅広い体系的知識を修得し、それに基づく応用力を汎用することによる実践的問題解決能力の養成を目的とした「経営学修士コース(MBAコース)」で構成した専門教育を行い、社会や学生のニーズに対応した教育カリキュラムと指導態勢が整っています。

研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
経済学研究科	修士課程	経済経営政策専攻



総合研究棟

環境科学研究科

環境科学研究科は、地球環境問題に対するかつてない高まりの中で、「人間と環境との調和的共生」を基本理念として、問題解決に向けた多角的・学際的・総合的な教育・研究を行うために平成14年4月に設置されました。本研究科は文・理2専攻からなり、文系の「環境共生政策学専攻」は環境に関する「政策・管理」と「社会文化」の側面から、理系の「環境保全設計学専攻」は「設計・解析」、「化学」および「生物」の自然科学的側面から教育・研究を行います。両分野は相互に密接に連携・補完しあいながら、学際的な環境問題の総合的解決を図ることを目指し、新しい環境科学の創造に意欲的に取り組んでいます。

研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
環境科学研究科	修士課程	環境共生政策学専攻 環境保全設計学専攻



内分泌かく乱化学物質の濃度測定風景

生産科学研究科

生産科学研究科は、昭和63年4月に工学部と水産学部を母体として、海洋生産科学研究科(後期3年博士課程)として発足しました。平成12年度には学際的分野の教育・研究の発展を目指し、両学部の既設の修士課程であった7専攻を博士前期課程の5専攻として取り込み、区分制博士課程として5年一貫教育・研究体制に改組するとともに研究科の名称を「生産科学研究科」と改称しました。併せて博士後期課程にシステム科学専攻を新設し、既設の2専攻と合わせ3専攻となりました。更に平成13年度には博士後期課程の既設2専攻を海洋生産科学専攻と物質科学専攻に改組・再編成し、科学技術分野の発展に対応した教育・研究が行える研究科へと発展してきています。

研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
生産科学研究科	博士課程 (前期)	機械システム工学専攻 電気情報工学専攻 環境システム工学専攻 物質工学専攻 水産学専攻
	博士課程 (後期)	システム科学専攻 海洋生産科学専攻 物質科学専攻



総合教育研究棟

医歯薬学総合研究科

大学院医歯薬学総合研究科は、平成14年4月1日に設置されました。本研究科は、今までの医学研究科、歯学研究科、薬学研究科の3研究科を医療科学、新興感染症病態制御学系、放射線医療科学、生命薬科学の4専攻に再編統合したものです。生命・医療領域において、急速な高度化・専門化が進み、それに対応するべく教育研究の拠点を大学院にシフトし、教育研究内容の学際化と高度化を図ったものです。本研究科は高度の専門的知識と経験を有し基礎研究・先端医療・創薬・保健行政・国際貢献などの分野で21世紀の生命医療科学を中心的に担うことのできる研究者・教育者および高度専門職業人を育成するとともに、生命・医療領域の教育研究において国際的拠点となることが一つの目標であります。

研究科・課程・専攻

研究科	課程	専攻
医 歯 薬 学 総 合 研 究 科	博士課程	医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻
	博士課程 (前期・後期)	生命薬科学専攻



研究報告会

専攻科

水産専攻科

専攻科・専攻

専攻科	専攻	修業年限
水産専攻科	遠洋漁業専攻	1年

3

職員・学生数等

職員数

平成15年5月1日現在
(人)

部 局	教		官					計	その他 の職員	合 計	
	学 長	副学長	学長補佐	教 授	助教授	講 師	助 手				
事 務 局	1	(2)	(7)				1	(9)2	178	(9)180	
保 健 管 理 セ ン タ ー				1	3				4	4	
先 導 生 命 科 学 研 究 支 援 セ ン タ ー				1	2		3		6	6	
総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー					1		2		3	3	
地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー					1				1	1	
生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー					1				1	1	
留 学 生 セ ン タ ー				2	2	1			5	5	
機 器 分 析 セ ン タ ー					1				1	1	
大 学 教 育 機 能 開 発 セ ン タ ー				4		7	1		12	12	
ア ド ミ ッ シ ョ ン セ ン タ ー				1		2			3	3	
環 境 保 全 セ ン タ ー							1		1	1	
教 育 学 部				55	34	3			92	16	108
附属教育実践総合センター				2					2		2
附属小学校								28	28	4	32
附属中学校								27	27	2	29
附属養護学校								27	27	2	29
附属幼稚園								6	6	1	7
経 済 学 部				33	30	5			68	16	84
医 学 部				20	8	5	13		46	53	99
医 学 部 附 属 病 院				3	11	42	58		114	573	687
歯 学 部										38	38
歯 学 部 附 属 病 院				1	3	18	26		48	83	131
薬 学 部										11	11
工 学 部				38	28	4	34		104	65	169
環 境 科 学 部				29	24		1		54	10	64
水 産 学 部				22	11	2			35	13	48
附属練習船鶴洋丸				1	2		2		5	16	21
附属練習船長崎丸				1	2		3		6	14	20
附属海洋資源教育研究センター				2	1				3		3
熱 帯 医 学 研 究 所				10	3	5	17		35	10	45
附属熱帯性病原体感染動物実験施設							1		1		1
附属熱帯感染症研究センター				2	1		1		4		4
附 属 図 書 館										21	21
生 産 科 学 研 究 科				9	9		8		26		26
医 歯 薬 学 総 合 研 究 科				63	60	25	120		268	4	272
附属原爆後障害医療研究施設				7	6	2	14		29	4	33
附属薬用植物園							1		1	1	2
医 療 技 術 短 期 大 学 部										6	6
計	1	(2)	(7)	307	244	121	307	88	(9)1,068	1,141	(9)2,209

副学長(2), 学長補佐(7)は, 併任で外数

学生数

平成15年5月1日現在
(人)

学部

区分	学科・課程	入学定員	編入学定員	収容定員	現 員						計
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教育学部	小学校教員養成課程	—	-	-	-	-	-	7	-	-	7
	中学校教員養成課程	—	-	-	-	-	-	4	-	-	4
	養護学校教員養成課程	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	学校教育教員養成課程	180	-	720	197	192	183	214	-	-	786
	情報文化教育課程	60	-	240	60	60	64	70	-	-	254
	計	240	-	960	257	252	247	296	-	-	1,052
経済学部	経済学科	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	経営学科	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	ファイナンス学科	-	-	-	-	-	-	8	-	-	8
	総合 昼間コース	355	-	1,420	375	366	365	495	-	-	1,601
	経済学科 夜間主コース	60	-	240	60	60	60	74	-	-	254
	計	415	15	1,690	435	426	425	580	-	-	1,866
医学部	医学科	95	5	590	102	100	105	109	107	80	603
	保健学科	106	14	212	106	105	-	-	-	-	211
	計	201	19	802	208	205	105	109	107	80	814
歯学部	歯学科	50	5	340	51	52	63	61	62	62	351
薬学部	薬科学科	80	-	320	86	80	85	103	-	-	354
工学部	機械システム工学科	80	-	320	82	85	88	135	-	-	390
	電気情報工学科	-	-	-	-	-	-	13	-	-	13
	電気電子工学科	80	-	320	85	88	93	130	-	-	396
	情報システム工学科	50	-	200	59	50	56	72	-	-	237
	構造工学科	40	-	160	43	44	52	51	-	-	190
	社会開発工学科	50	-	200	53	56	55	72	-	-	236
	材料工学科	50	-	200	54	52	55	77	-	-	238
	応用化学科	50	-	200	53	57	50	72	-	-	232
	各学科共通	-	20	40	-	-	-	-	-	-	-
計	400	20	1,640	429	432	449	622	-	-	1,932	
環境科学部	環境科学科	140	10	580	147	138	158	167	-	-	610
水産学部	水産学科	110	-	440	119	114	117	134	-	-	484
合計		1,636	69	6,772	1,732	1,699	1,649	2,072	169	142	7,463

専攻科

平成15年5月1日現在
(人)

専攻科		入学定員	現員
水産専攻科	遠洋漁業専攻	30	4

大学院

平成15年5月1日現在
(人)

研究科	修士・博士前期課程				博士・博士後期課程					
	入学定員	1年次	2年次	計	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
教育学研究科	38	39	47	86						
経済学研究科	15	22	17	39						
医学研究科								71	154	225
歯学研究科							5	20	20	45
薬学研究科			4	4				18		18
環境科学研究科	25	22	26	48						
海洋生産科学研究科					-			11		11
生産科学研究科	180	245	207	452	44	36	34	38		108
医歯薬学総合研究科	53	75	43	118	131	91	109			200
計	311	403	344	747	175	127	148	158	174	607

研究生・科目等履修生

平成15年5月1日現在
(人)

学部等	区分	研究生	科目等履修生	特別聴講学生	特別研究学生
教育学部・教育学研究科		6	12	0	2
経済学部・経済学研究科		8	1	2	0
医学部・医学研究科		41	0	0	0
歯学部・歯学研究科		3	0	0	0
薬学部・薬学研究科		0	0	0	0
工学部		2	0	2	0
環境科学部・環境科学研究科		5	0	0	0
水産学部		2	0	0	0
熱帯医学研究所		1	0	0	0
生産科学研究科		2	1	0	0
医歯薬学総合研究科		20	0	0	8
計		90	14	4	10

上記以外に長崎県における大学間の単位互換履修生（特別聴講学生）が5人



職員・学生数等

平成15年度入学者状況

学 部 (人)

学 部	区 分	入学定員	入学志願者	入 学 者
教 育 学 部		240	990 1	257
経 済 学 部	昼間コース	355	1,392 30	365 10
	夜間主コース	60	83	60
医 学 部		201	1,517 1	201 1
歯 学 部		50	379	50
薬 学 部		80	712	86
工 学 部		400	1,188 54	420 9
環 境 科 学 部		128 12	380 74	135 12
水 産 学 部		110	754 1	119
計		1,624 12	7,395 161	1,693 32

は外国人留学生で外数

出身高校による入学者（外国人留学生を除く）の地域別区分

(人)

学部	区 分	長 崎 県	九州地区 (長崎県を除く)	中国 四国地区	近畿地区	中部地区	関東地区	東 北 地区 北海道	外 国 検 等	計
教 育 学 部		152	80	19	3	0	2	0	1	257
経 済 学 部		188	202	25	2	6	1	0	1	425
医 学 部		77	95	15	4	5	3	2	0	201
歯 学 部		10	19	5	5	7	4	0	0	50
薬 学 部		27	38	8	4	5	3	1	0	86
工 学 部		154	220	27	10	3	4	1	1	420
環 境 科 学 部		40	62	17	5	6	1	2	2	135
水 産 学 部		39	34	15	14	14	2	1	0	119
計		687	750	131	47	46	20	7	5	1,693



大学院

(人)

研究科	区分	入学定員	入学志願者	入学者
教育学研究科		38	45 2	37 1
経済学研究科		15	42 9	20 2
環境科学研究科		25	28 8	14 8
生産科学研究科	前期	180	286 7	238 7
	後期	44	30 7	30 6
医歯薬学総合研究科	博士	108	68 10	65 9
	博士前期	53	85 1	72 1
	博士後期	23	8	8
計		486	592 44	484 34

は外国人留学生で外数

専攻科

(人)

専攻科	区分	入学定員	入学志願者	入学者
水産専攻科		30	3	3



キャンパス風景



学生食堂

平成14年度卒業者(修了者)及び進路状況

平成15年3月31日現在

学部卒業者 (人)

学 部	平成14年度	累 計
教 育 学 部	247	14,414
経 済 学 部	昼間コース	11,699
	夜間主コース	86
医 学 学 部	104	4,964
歯 学 学 部	52	1,176
薬 学 学 部	83	3,463
工 学 学 部	461	9,919
環 境 科 学 部	148	278
水 産 学 部	107	4,492
合 計	1,555	50,491

大学院修了者 (人)

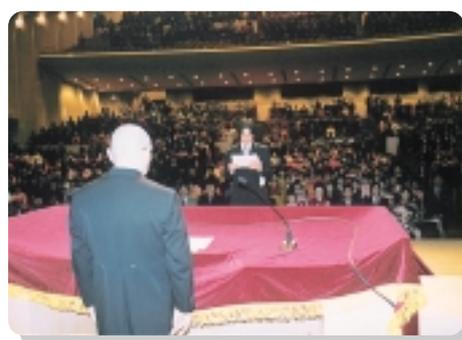
大 学 院	平成14年度	累 計
教育学研究科	45	256
経済学研究科	6	83
医学研究科	57	1,101
歯学研究科	12	113
薬学研究科	63	904
工学研究科	1	1,758
水産学研究科	0	616
海洋生産科学研究科	3	241
生産科学研究科	224	434
合 計	411	5,506

専攻科修了者 (人)

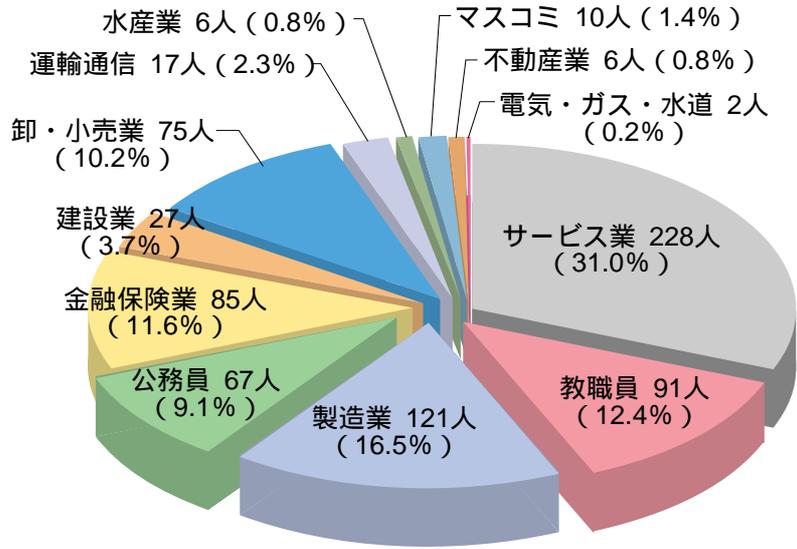
専 攻 科	平成14年度	累 計
水産専攻科	3	335

進路状況 (人)

進 路	学 部	教育学部	経済学部	薬学部	工学部	環境科学部	水産学部	合 計
卒 業 者 数		247	314	83	461	148	107	1,360
就 職	就職希望者数	192	250	30	217	89	57	835
	就職者数	175	215	26	190	86	43	735
	就職率	91.1	86.0	86.7	87.6	96.6	75.4	88.0
	農 業							
	林 業							
	水産業		2				4	6
	鉱 業							
	建設業		2		24	1		27
	製造業	3	24	2	72	9	11	121
	卸・小売業	11	33		1	17	13	75
	金融保険業	9	70			6		85
	電気・ガス・水道		1				1	2
	不動産業	2	1			3		6
	運輸通信	4	7		3	2	1	17
	マスコミ	4	3			2	1	10
	サービス業	34	53	22	75	35	9	228
教 育	91						91	
公 務 員	17	19	2	15	11	3	67	
進 学 者 数	28	10	53	227	29	33	380	
そ の 他	44	89	4	44	33	31	245	



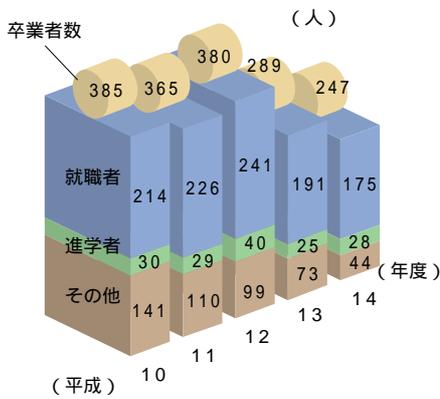
就職者産業別内訳



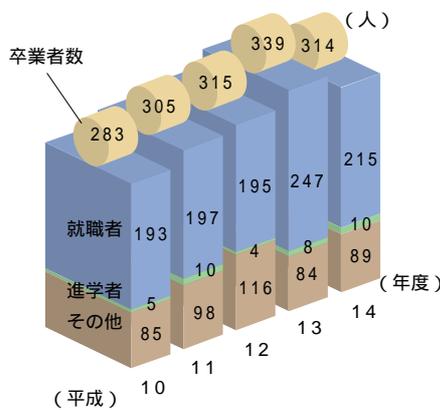
職員・学生数等

過去5年間の進路状況の推移

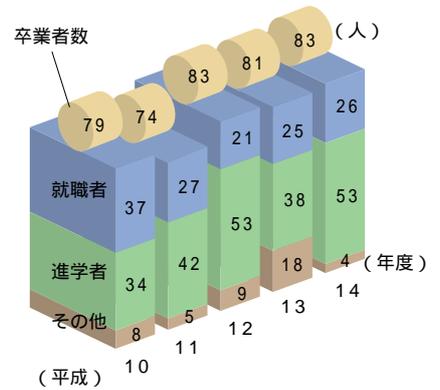
教育学部



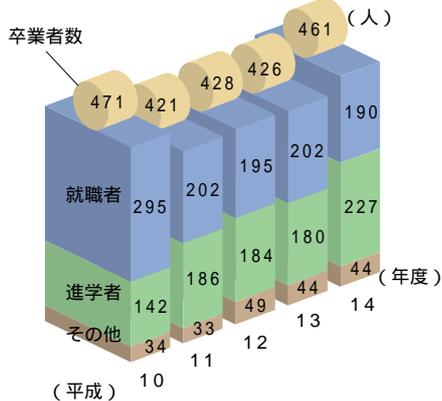
経済学部



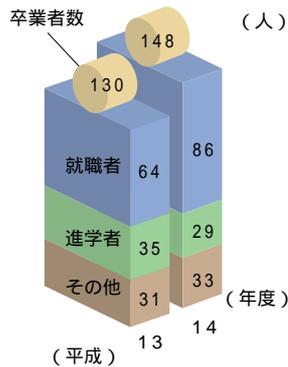
薬学部



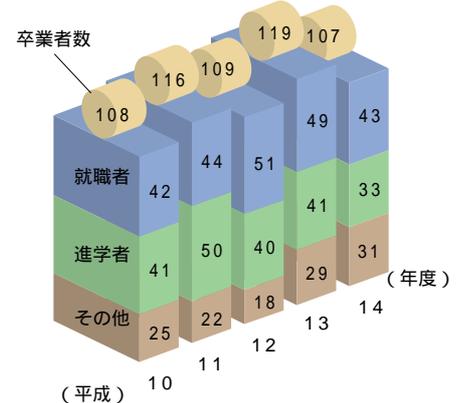
工学部



環境科学部



水産学部



学位授与数

平成15年3月31日現在
(人)

博士の種類	課程修了		論文		旧制授与数
	平成14年度	累計	平成14年度	累計	
学術	6	105	1	14	
医学	57	1,101	36	1,680	1,347
歯学	12	113	5	69	
薬学	7	50	2	32	
工学	15	139	1	27	
水産学	1	16	0	8	
合計	98	1,524	45	1,830	1,347

修士の種類	平成14年度	累計
学術	6	12
教育学	45	256
経済学	6	83
薬学	37	806
臨床薬学	19	48
工学	164	2,094
水産学	36	683
合計	313	3,982



4

研究所等

附置研究所

熱帯医学研究所

熱帯医学研究所は、熱帯地域で猛威を振う感染症の研究を総合的に行うため、感染症を病原体の側面から研究する病原体解析部門、ヒト側から研究する宿主病態解析部門、病原体とヒトの間に介在する自然・社会環境面から研究する環境医学部門の3部門と疾病の疫学・情報を研究する熱帯感染症研究センターの組織を有しています。

熱帯病の研究には疾病が流行する地域での調査研究が不可欠です。このため本研究所は、アジア、アフリカ、中南米の国々の研究機関と密接な連携を保ち、共同研究を続けています。

熱帯病は地理的、社会的、経済的等多様な付帯要因によってその流行像は異なりますので、熱帯病の研究には複数分野横断的研究の必要性が叫ばれています。このような学際的研究を遂行するために共同利用研究組織が活用されています。

研究部門（研究分野）	総合目標
病原体解析 （分子構造解析，病原因子機能解析，感染細胞修飾機構，寄生行動制御，分子疫学）	1．熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2．研究成果の応用による熱帯病の防圧並びに健康増進への国際貢献 3．上記に係る研究者と専門家の育成
宿主病態解析 （暑熱順化機構，炎症細胞機構，病変発現機序，感染症予防治療，エイズ・感染防御）	
環境医学 （生物環境，社会環境，疾病生態）	



熱帯医学研究所



タンザニアでの検診風景

学内共同教育研究施設等

研究所等

名 称	業 務	
先 導 生 命 科 学 研 究 支 援 セ ン タ ー	アイソトープ 実験施設	<ul style="list-style-type: none"> 放射性同位元素を用いた研究に対する施設の提供及び研究指導並びに助言 放射性同位元素の管理 放射性同位元素等取扱者に対する講習会 学生実習 生物の放射線応答に関する研究 その他必要な業務
	動 物 実験施設	<ul style="list-style-type: none"> 生命資源を用いた動物実験の安全管理 動物福祉と倫理面に配慮した適切な実験環境と飼育環境の確保 動物実験従事者に対する講習会 人獣共通感染症と実験動物固有の感染症に対する診断検査予防技術等の開発 その他必要な業務
	遺 伝 子 実験施設	<ul style="list-style-type: none"> 組換えDNA実験その他の遺伝子実験の安全管理 組換えDNA実験その他の遺伝子実験従事者の教育訓練 組換えDNA実験その他の遺伝子実験従事者の研究支援 遺伝子研究と技術開発 その他必要な業務
総合情報処理 セ ン タ ー	<ul style="list-style-type: none"> 研究のための科学技術計算及びデータ処理 情報処理教育における計算機システムの利用 学術情報の処理及び提供における計算機システムの利用 計算機システム及びネットワークシステムに関する研究、開発等及び利用者に対する技術の指導 その他情報処理に関すること 	
地域共同研究 セ ン タ ー	<p>大学と地域産業社会との共同研究を推進し、地域社会における先端技術の開発・導入の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間等との共同研究・受託研究の推進 民間等の技術者に対する先端的技術教育・研修の実施 民間等に対する大学のシーズや情報の発信 民間等からの科学技術相談への対応 民間等や地域社会への研究成果の還元 学内、他大学及び海外との共同研究、連携の推進 	
生涯学習教育 研究センター	<p>生涯学習に関する教育及び研究を行い、大学開放の企画、運営及び生涯学習の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学公開講座、公開シンポジウム等の生涯学習講座事業 生涯学習のコンテンツ開発、生涯学習講座の評価等の研究 自治体、各種機関・団体との受託研究・連携事業 センター季報、生涯学習叢書の発行等の情報の収集・提供 	

名 称	業 務
留学生センター	<p>外国人留学生の日本における修学や生活の円滑化を支援する業務を中心とし、日本人学生対象の留学相談・留学情報提供や地域の留学生交流の拠点としての役割業務等</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学の留学生を対象とする日本語集中コース 全学の留学生を対象とする日本語一般コース 主として学部留学生を対象とする日本語・日本事情教育 留学生に対する修学・生活指導 留学生問題全般への実務上の対処 留学生問題に関する調整・広報活動 留学生教育に関する研究活動 留学情報の収集と提供活動
機 器 分 析 セ ン タ ー	<p>学内の大型で精密な各種機器分析装置を集中管理し、機器の有効利用と総合的な研究効率の向上及び機器分析情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 元素分析 —— 化合物中の炭素、水素等元素の組成比の測定 物質の構造解析に必要な各種スペクトル —— 紫外吸収、赤外吸収、質量分析、核磁気共鳴、X線解析等 —— の測定 タンパク質やペプチドを構成するアミノ酸の分析 遺伝子DNAの塩基配列の決定及びDNA断片の化学合成 新素材の表面分析
大学教育機能 開発センター	<ul style="list-style-type: none"> 全学教育及び高等教育全般に関する研究開発及び企画・立案 全学教育の実施に関する具体的事項の立案・運営 教育・研究の評価方法やFDに関する研究 授業評価の確立とFDの企画、運営、実施 教育改善の支援
アドミッショ ンセンター	<ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜方法等に係る調査・研究 入学者選抜結果の分析及びその評価 入学者の学業成績の追跡調査 AO入試の実施の企画・立案 AO入試に係る学生募集要項、入学案内及び広報誌の作成 大学説明会の企画、立案及び実施 高等学校等訪問による進学相談
環 境 保 全 セ ン タ ー	<ul style="list-style-type: none"> 環境汚染物質の分析並びに測定 環境汚染状況等の調査 公害防止対策に資する資料の収集及び整備 その他公害の発生防止のための各種定常的測定 実験廃液等の収集及び処理

学部等附属教育研究施設

名 称		目 的 等
教育学部	附属教育実践総合センター	教師教育の充実と学部教育の改善，および地域教育界との連携を図るため，以下の業務を行う。1) 教育実地研究・体験実習等の運営・指導・研究，2) 情報教育の指導・研究，3) 大学教員としての専門的能力の開発と指導改善についての研修，4) 現職教員の実践的能力の開発に係る研修，5) いじめ・不登校等，教育上の諸問題についての援助・研究
水産学部	附属練習船鶴洋丸	米国式旋網漁業実習，海洋学実習，航海運用実習 総屯数 1,044.38屯 全長 63.65m 鋼船 2,800馬力 教官，その他の船員 21名 学生収容人員 42名
	附属練習船長崎丸	トロール漁業実習及び延縄漁業実習，海洋学実習，航海運用実習 総屯数 842.00屯 全長 62.87m 鋼船 2,800馬力 教官，その他の船員 21名 学生収容人員 40名
	附属海洋資源教育研究センター	海洋環境の保全並びに海洋生物資源の保護育成及び有効利用について，実験・実習の実践的教育を踏まえて体系的な教育研究を行うこと。
熱帯医学研究所	附属熱帯性病原体感染動物実験施設	熱帯性病原体による感染に関する研究に必要な動物実験を行うこと。
	附属熱帯感染症研究センター	熱帯感染症・寄生虫症に関する資料・情報を収集・整理・保存・解析及び提供するとともに，熱帯感染症・寄生虫症の発生・拡大に関与する複合的要因の解析と予防制圧に資する研究を行うことにより，学術研究の進展に寄与すること。
医歯薬学総合研究科	附属原爆後障害医療研究施設	原爆被爆や放射線被曝事故等による放射線障害発症機構の解明と放射線被曝者の遺伝子レベルでの治療を目的とし，放射線障害者（ヒバクシャ）の国際的調査や医療協力を実施し，加えて原爆後障害医療の情報センターの性格を併せもった総合研究施設。 <u>放射線障害解析部門</u> 病態分子解析研究分野（原研病理） 国際放射線保健部門（原研国際） 放射線応答解析研究分野（原研放射） 資料収集保存部 分子情報制御研究分野（原研生化） 資料調査室（原研情報室） 放射線疫学研究分野（原研疫学） 生体材料保存室（原研試料室） <u>分子医療部門</u> 変異遺伝子解析研究分野（原研遺伝） 分子診断研究分野（原研細胞） 分子治療研究分野（原研内科） 分子設計応用研究分野（原研分子）
	附属薬用植物園	薬用植物を栽培して，学術研究及び教育に資すること。

研究所等

5

附属施設等

附属図書館

長崎大学附属図書館は、中央図書館(文教キャンパス)、医学分館(坂本キャンパス)及び経済学部分館(片淵キャンパス)で構成され、本学の教育と研究及び学習に必要な資料・情報を収集組織し、利用に供し、その発展に寄与する支援基盤として設置されています。

近年は、図書館機能の高度化のため、電子化情報技術を活用して効率的な業務の遂行とデジタル化資料の整備提供(電子ジャーナルの収集受入、貴重資料のデータベース化、ホームページの充実等)、また利用ガイダンスの実施や開館時間の延長により利用者支援活動の充実に取り組んでいます。

蔵書数(平成15年4月1日現在)

(冊)

館名	図書数			雑誌の種類		
	和漢書	洋書	計	和文	欧文	計
中央図書館	414,985	128,552	543,537	9,754	3,068	12,822
医学分館	125,278	113,635	238,913	2,941	3,131	6,072
経済学部分館	205,653	90,244	295,897	2,459	894	3,353
計	745,916	332,431	1,078,347	15,154	7,093	22,247

利用状況

館内	区分	教職員	学生	その他	計
中央図書館	入館者数	278,089		3,293	281,382
	貸出冊数	1,324	36,578	195	38,097
医学分館	入館者数	119,348		1,530	120,878
	貸出冊数	967	11,749	0	12,716
経済学部分館	入館者数	45,515		1,163	46,678
	貸出冊数	3,445	6,179	0	9,624
計	入館者数	442,952		5,986	448,938
	貸出冊数	5,736	54,506	195	60,437



附属図書館(中央図書館)



閲覧室での学習風景



医学部附属病院

医学部附属病院

安政4年(1857年),長崎奉行所西役所内に西洋医学伝習所が設けられ,オランダ国軍医ポンペ・ファン・メールデルフォールト氏によって我が国最初の組織的な西洋医学の教育が開始され,ついで文久元年(1861年)に本院の前身である養生所が創設されました。その後,大正12年(1923年)に長崎医科大学附属医院となり,昭和24年の学制改革により長崎大学医学部附属病院となりました。昭和36年には,病院開設100周年を迎え,当時13診療科,2中央診療施設,540床でしたが,平成15年4月には国際ヒバクシャ医療センター及び地域医療連携センターが設置され,現在では21診療科,18中央診療施設,829床に拡充されました。また,平成15年3月17日付けをもって(財)日本医療機能評価機構の認定証の交付を受けました。今後,現在地において病棟の改修工事を行い,平成22年には新病棟が完成する予定です。

診療科別病床数・患者数

(人)

区分 診療科等名	病床数	入院患者		外来患者	
		延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
第一内科	71	23,337	63.9	26,054	106.3
第二内科	85	26,072	71.4	20,479	83.6
第三内科(循環器科)	40	12,750	34.9	12,545	51.2
精神科神経科	50	11,225	30.8	16,688	68.1
小児科	59	14,401	39.5	16,617	67.8
第一外科	56	19,554	53.6	8,425	34.4
第二外科	56	18,219	49.9	7,108	29.0
整形外科	40	14,050	38.5	13,030	53.2
皮膚科	23	7,899	21.6	14,074	57.4
泌尿器科	33	10,926	29.9	11,092	45.3
眼科	41	13,211	36.2	23,409	95.5
耳鼻咽喉科	42	12,466	34.2	15,514	63.3
放射線科	16	5,858	16.0	3,151	12.9
産科婦人科	58	21,034	57.6	13,402	54.7
麻酔科	3	581	1.6	2,742	11.2
脳神経外科	24	8,892	24.4	5,261	21.5
形成外科	19	7,347	20.1	4,267	17.4
心臓血管外科	17	6,978	19.1	2,303	9.4
原研外科	40	12,253	33.6	5,924	24.2
熱研内科	20	6,903	18.9	2,769	11.3
総合診療科	-	842	2.3	3,630	14.8
共通病床	19	-	-	-	-
R I 治療病室	8	-	-	-	-
集中治療部	9	-	-	-	-
合計	829	254,798	698.1	228,484	932.6

注・病床数は平成15年5月1日現在、予算病床は795床 ・患者数は平成14年度分 ・外来診療日245日

附属施設等



歯学部・同附属病院

歯学部附属病院

歯学部附属病院は、「次代を担う歯科医師を養成する教育病院」であり、また「患者に優しい地域の中核および高次歯科病院」としての役割を担っています。

平成14年には、時代の要請に応える新しい歯科治療の推進を目指して、診療科の再編を行いました。教育病院としては、「病を治す」と同時に「人を診る」こともできる歯科医師を養成したいと、職員一同頑張っているところです。

なお、平成15年10月1日から本院は医学部附属病院と統合し、名称も長崎大学医学部・歯学部附属病院と改称されることになっています。

診療科別病床数・患者数

(人)

診療科等名	区分	病床数	入院患者		外来患者	
			延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
総合歯科	歯の病気予防室	40	9,149	25.0	5,038	20.5
	歯並び・噛み合わせ治療室				7,657	31.2
	子供の歯治療室				5,604	22.8
	虫歯・歯周病治療室				33,619	137.2
	入れ歯・そしゃく治療室				24,705	100.8
顎・口腔歯科	口・顎の外科室				18,463	75.3
専門歯科	インプラント室				571	2.3
	地域歯科室				108	0.4
	顎関節症室				354	1.4
	歯科材料アレルギー室				459	1.8
	スポーツ歯科室				54	0.2
	審美歯科室				1,047	4.2
	口臭クリニック				70	0.2
	ペインクリニック				38	0.1
診断管理科	X線検査・診断室				1,697	6.9
	麻酔・生体管理室	433	1.7			
特殊歯科総合治療部		5,856	23.9			
初期治療部	臨床実習室	3,000	12.2			
	臨床研修室	1,573	6.4			
合計		40	9,149	25.0	110,346	450.3

注・患者数は平成14年度分・外来診療日245日

附属学校

教育学部附属学校

平成15年5月1日現在
(人)

区分	学級区分	学 年	学級数	学級定員	総定員	現 員	
附属小学校	普通学級	1	4	40	160	116	
		2	4	40	160	126	
		3	4	40	160	124	
		4	3	40	120	125	
		5	3	40	120	121	
		6	3	40	120	123	
		計		21		840	735
附属中学校	普通学級	1	5	40	200	210	
		2	5	40	200	207	
		3	5	40	200	201	
		計		15		600	618
附属養護学校	複式学級	小学部	1	1	6	18	3
			2				3
			3	1	6		3
		4	4				
		5	3				
		普通学級	中学部	6	1		6
	1			6			
	2			6			
	普通学級	高等部	3	1	8	24	6
			1				8
			2				9
		計		9		60	63
附属幼稚園	3歳児	二年保育	—	—	—	—	
		三年保育	1	20	20	20	
	4歳児	二年保育	2	50	70	45	
		三年保育				19	
	5歳児	二年保育	2	50	70	44	
		三年保育				19	
		計		5		160	147

附属養護学校小学部は、2個学年複式



小学校



中学校



養護学校



幼稚園

附属施設等

6

厚生補導施設等

保健管理センター

保健管理センターは、昭和41年4月に全国のトップをきって設置され、学生・教職員の疾病予防と健康維持、増進を支援しています。

健康診断や診療だけでなく、身体的及び精神的な悩みの相談、婦人科相談、歯科相談にも応じています。また、自ら自身の状態をチェックするために身長・体重・体脂肪計、自動血圧計、自動視力計などを開放しています。学園生活を通して実りある生活を送るとともに、適切なライフスタイルを確率し、健やかな人生をめざして踏み出すことを願って様々な支援を行っています。

職員(数)	教授(所長)	助教	臨床検査技師	診療放射線技師	看護師	保健師	事務官	計	学校医					主な医療設備									
									内科	皮膚科	産科婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科	レントゲン装置	超音波診断装置	心電計	尿分析器	自動化学分析装置	自動血圧計	体内脂肪計	歯科用ユニット	骨密度測定装置
	1	3	1	1	1	2	[1] (1)	9 (1)(1)	4	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	7	2	1	1
備考	保健管理センター(相談日).....毎日(午後は医師による相談)																						
	経済学部分室(相談日).....水曜日午前																						
	坂本分室(相談日).....月曜日・金曜日の午前(医師による相談も可)																						
(注)[]は併任を示し外数																							
()は事務室長が兼務で外数																							



保健管理センター

体育施設

施設名	体育館	弓道場	柔道場	剣道場	武道場	テニスコート	グラウンド	バレーコート	プール	ハンドボール	備考
文教地区	2	1	1	1		9	1	2	1	1	・柔道場、剣道場及び武道場は各地区の体育館内 ・ハンドボールコートはテニスコートと兼用
片淵地区	1	1			1	6	1				
坂本地区	1	1			1	2	1				
計	4	3	1	1	2	17	3	2	1	1	

その他主たる施設

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
臨海研修所	学務部	西彼杵郡時津町子々川郷	宿 泊 施 設 食 堂 ポ ー ト	学生の課外活動 教職員研修会 レクリエーション	長 崎 大 学
課外活動 共用施設	"	文教町1-14 長崎大学文教地区構内	共用室・研修室 ミーティングルーム	学生の課外活動 宿 泊 施 設	長 崎 大 学
学生会館	"	"	談話室・集会室 和室・茶室 食堂・喫茶 売 店 理・美容室	学生の課外活動 食 品 販 売 食 堂 ・ 喫 茶 書 籍 ・ 日 用 品 販 売 調 髪 ・ 美 容	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合 業 者
課外活動共用 施設・合宿 研修施設	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談話室・共用室 共用会議室 音楽練習室 レコード鑑賞室 制作室・暗室 研 修 室	学生の課外活動 宿 泊 施 設	長 崎 大 学
扶揺会館	"	"	談話室・和室 集会室・食堂 売 店	学生の課外活動 喫 茶 書 籍 ・ 食 堂 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
福利厚生施設	医学部	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食 堂 書 籍 ・ 食 品 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
"	歯学部	坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内	談話室・和室 軽 食 室	学生の課外活動 食 堂 ・ 喫 茶 書 籍 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
"	医療技術 短期大学 部	坂本1丁目7-1 長崎大学附属病院構内	食 堂 売 店	食 堂 日 用 品 販 売	長崎大学生協同組合

厚生補導施設等



臨海研修所

7

国際交流

平成15年度外国人留学生

平成15年4月1日現在
(人)

部局別内訳

学部等	区分	学部学生	大学院生	研究生等	計	学部等	区分	学部学生	大学院生	研究生等	計
教育学部		2(2)	4(3)①	6(3)②	12(8)③	水産学部		2			2
経済学部		23(10)	3(1)	10(5)①	36(16)①	熱帯医学研究所				1 ①	1 ①
医学部		1(1)①	15(6)⑩		16(7)⑩	海洋生産科学研究科			1		1
歯学部		3(2)			3(2)	生産科学研究科			39(13)②		39(13)②
薬学部		1(1)	9(4)⑦		10(5)⑦	医歯薬学総合研究科			23(8)⑧	2(1)①	25(9)⑨
工学部		30(6)④		3	33(6)④	留学生センター				9(4)⑨	9(4)⑨
環境科学部		4(15)	10(5)①	3(3)	54(23)①	医療技術短期大学部		1(1)			1(1)
						計		104(38)⑤	104(40)⑨	34(16)⑭	242(94)⑯

() は女子を内数で示す。
① は国費留学生を内数で示す。

国別内訳

(人)

国名	区分	学部学生	大学院生	研究生等	計	国名	区分	学部学生	大学院生	研究生等	計
Bangladesh			4 ④		4 ④	Nigeria			1 ①		1 ①
巴 拿 馬				1 ①	1 ①	Pakistan			1 ①		1 ①
ベ ー ン				1 ①	1 ①	Panama			1		1
ポ ー ー			2(1)①		2(1)①	Peru			1(1)①		1(1)①
ブラ ー				1(1)	1(1)	Philippines			4(3)④		4(3)④
カンボディア			2 ②		2 ②	ロ ー			1 ①		1 ①
中 国		88(32)	49(18)⑧	7(5)	144(55)⑧	Saudi Arabia				1 ①	1 ①
中国(台湾)		1(1)			1(1)	South Africa				1(1)①	1(1)①
コ ー			1 ①		1 ①	Sri Lanka			1(1)		1(1)
ガ ー				1(1)①	1(1)①	Tanzania			1 ①		1 ①
グアテマラ			1(1)①		1(1)①	Thailand			4(4)②	3(3)①	7(7)③
イ ン				1 ①	1 ①	ト ー			1 ①		1 ①
インドネシア			3(1)③	3(1)②	6(2)⑤	Ukraine			2(1)②		2(1)②
ヨ ー			1(1)①		1(1)①	Vietnam		1(1)	3(2)③	2 ②	6(3)⑤
カザフスタン			2 ②		2 ②	計		104(38)⑤	104(40)⑨	34(16)⑭	242(94)⑯
ケ ー			2 ②		2 ②						
韓 国		7(2)④	4(1)	8(3)	19(6)④						
ラ ー		1	2 ①		3 ①						
レ ー				1 ①	1 ①						
マダガスカル			1 ①	1(1)	2(1)①						
マレーシア		6(2)①	3(1)③	1 ①	10(3)⑤						
モ ー			4(3)①		4(3)①						
ミャンマー			2(1)①		2(1)①						
ネ ー				1 ①	1 ①						

() は女子を内数で示す。 ① は国費留学生を内数で示す。
国名はアルファベット順



国際交流会館

外国の大学等との学術交流協定締結状況

(平成15年5月1日現在)

	相手国	相手機関	交流内容	締結年月日	締結主管部局
1	中 国	中山医科大学	人物交流, 学術情報交換, 医学教育交流, 共同研究	昭和60年(1985.8.1)	医 学 部
2		福建省衛生防疫所	人物交流, 共同研究, 学術情報交換	平成元年(1989.8.23)	医 学 部
3		復旦大学薬学院	学術情報交換, 教官・大学院学生交流, 共同研究	平成元年(1989.10.4)	薬 学 部
4		福州大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	平成4年(1992.3.4)	(工 学)
5		中国海洋大学	研究者交流, 学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成9年(1997.1.20)	(水 産)
6		中国薬科大学	教官・研究者交流, 学生交流, 研究・教育の合同計画, 学術情報交換	平成10年(1998.10.30)	(薬 学)
7		武漢理工大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, シンポジウム	平成13年(2001.1.11)	(工 学)
8		福建医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.8.6)	(医 学)
9		同済大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.11.12)	(工 学)
10		国立陽明大学(台湾)	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.6.21)	(医 学)
11		大連水産学院	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.1.17)	(水 産)
12		上海第二医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.3.10)	(歯 学)
13		第四軍医大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.3.26)	(歯 学)
14	韓 国	済州大学校	教職員・学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成3年(1991.2.5)	(工学・水産)
15		慶北大学校芸術大学	学術情報交換, 教官・学生交流, 作品展, 演奏会, シンポジウム	平成3年(1991.10.17)	教育 学 部
16		啓明大学医学部	教官・研究者交流, 学術情報交換, セミナー	平成3年(1991.11.18)	医 学 部
17		嶺南大学校工科大学	教官等交流, 学生交流, 共同研究, セミナー・シンポジウム, 学術情報交換	平成5年(1993.2.28)	工 学 部
18		釜慶大学校	学術情報交換, 教官・学生交流, 共同研究, 練習船相互訪問	平成9年(1997.1.29)	(水 産)
19		江原大学校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.4.4)	(工 学)
20		晋州保健大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.9.11)	(医 学)
21	タ イ	昌原大学校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.10.24)	(教 育)
22		麗水大学校	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.12.20)	(水 産)
23		チェンマイ大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	平成2年(1990.9.5)	(経済・熱研)
24		チュラロンコン大学薬学部	学生交流, 教官・研究者交流, 共同研究, 学術情報交換	平成11年(1999.3.26)	薬 学 部
25		マヒドン大学	研究者・学生交流, 共同研究, 教育プログラム, 学術情報交換	平成11年(1999.11.1)	(熱 研)

(平成15年5月1日現在)

	相手国	相手機関	交流内容	締結年月日	締結主管部局
26	インドネシア	サムラトランギ大学	学術情報交換, 教職員・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	平成5年(1993.4.19)	(水産)
27	シンガポール	シンガポ・ル国立大学医学部	学術情報交換, 管理者・教官・学生交流, 共同研究, 講演, シンポジウム	昭和62年(1987.6.15)	医学部
28	マレーシア	マレーシア科学大学	学生交流, 教職員交流, 学術情報交換, 共同研究	平成7年(1995.5.15)	(水産)
29	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	研究者・学生交流, 共同研究, セミナー・シンポジウム, 学術情報交換, 教育交流	平成13年(2001.4.10)	(熱研)
30	ベトナム	国立衛生疫学研究所	教職員・研究者・学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.6.25)	(熱研)
31	アメリカ	ハワイ大学教育学部	学生派遣	昭和60年(1985.12.19)	教育学部
32		サウス・カロライナ大学	共同研究, 教官交流, 学術情報交換, 学生交流	平成4年(1992.1.21)	(水産)
33	アメリカ	テキサスA&M大学システムヘルスサイエンスセンター	共同研究, 合同セミナー・ワークショップ・学外会議等の企画, 教員・学生交換, 学術情報交換, 学術協力の促進	平成12年(2000.11.29)	(歯学)
34		ミシガン州立大学人間医学部	教育研究資料・刊行物・学術情報交換, 教員・研究者交流, 学生交流, 共同研究・合同会議	平成14年(2002.3.6)	(薬学)
35		アリゾナ大学	教員・研究者・技術専門職交換, 共同研究, 交換留学生, 学術情報・関連出版物交換	平成14年(2002.8.27)	(環境)
36	イタリア	ラクイラ大学工学部	研究者交流, 学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成9年(1997.5.5)	工学部
37		トリノ工科大学	研究者交流, 学生交流, 共同研究, シンポジウム, 学術情報交換	平成9年(1997.8.1)	(工学)
38		ナポリ大学フェデリコ	教官・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義, セミナー・シンポジウム, 学術情報交換	平成10年(1998.5.4)	(工学)
39	イギリス	シェフィールドハラム大学シェフィールドビジネススクール	共同研究, 教官等交流, 学術情報交換, 学生交流	平成8年(1996.12.16)	経済学部
40		ユニバーシティカレッジ・ロンドン	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報交換	平成13年(2001.3.14)	(薬学)
41		グレイ癌研究所	教育研究資料・刊行物・学術情報交換, 教員・研究者交流, 学生交流, 共同研究・合同会議	平成15年(2003.2.26)	(医歯薬)
42	ドイツ	ビュルツブルク大学医学部	教授・研究者交流, 学生交流, 研究・教育の合同計画, 学術情報交換	平成8年(1996.9.26)	医学部
43	オランダ	ライデン大学	教官・研究者交流, 学生交流, 研究・教育の合同計画, 学術情報交換	平成10年(1998.9.2)	(医学)
44	ヨルダン	ヨルダン大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報交換	平成15年(2003.3.12)	(薬学)
45	ベラルーシ	ベラルーシ医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成13年(2001.7.30)	(医学)
46		ゴメリ医科大学	教職員・研究者交流, 学生交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.1.31)	(医学)
47	カザフスタン	セミパラチンスク医科大学	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成10年(1998.3.4)	(医学)
48		放射線医学環境研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.12.18)	(医学)
49	ウクライナ	ウクライナ医学アカデミー内分泌代謝研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.2.21)	(医学)
50		ウクライナ医学アカデミー放射線医学研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成15年(2003.2.21)	(医学)
51	ロシア	オプニンスク放射線医学研究所	教職員・研究者交流, 共同研究, 講義・講演・シンポジウム, 学術情報・資料交換	平成14年(2002.7.5)	(医学)

来訪者及び渡航者数

(人)

		区 分 (経費負担別)	平成12年度	平成13年度	平成14年度
I 教官の海外渡航者数		文部科学省事業	54	59	56
		日本学術振興会	39	26	22
		科学技術振興事業団		5	36
		科学研究費補助金	113	137	179
		科学技術振興調整費			4
	その他の政府関係	文部科学省以外の省庁	1	8	6
		国際協力事業団	13	21	12
		その他	10	10	8
		その他の国内資金	274	217	259
		外国政府・研究機関等	21	37	25
		私 費	203	150	173
	合 計	728	670	780	
II 外国人研究者等受入者数		文部科学省事業	38	34	29
		日本学術振興会	32	40	33
		科学技術振興事業団		2	
		科学研究費補助金	12	6	8
	その他の政府関係	文部科学省以外の省庁	2	2	
		国際協力事業団(外国人受託研修員等)	37	56	17
		その他	1	3	
		その他の国内資金	47	34	43
		外国政府・研究機関等	29	32	40
		私 費	41	46	44
		合 計	239	255	214
III 外国人来訪者数		表敬訪問等	107	110	188

国際交流

国別来訪者数及び渡航者数

(平成14年度)

(人)

	南北アメリカ		ヨーロッパ						CIS		ア 大洋州		ア 中 韓			ジ ASEAN諸国						ア		合 計							
	米 国	カナダ	その他	EU 諸国			その他	ロシア	その他	オーストラリア	その他	中 東	中 国	韓 国	フィリピン	マレーシア	タイ	インドネシア	シンガポール	ベトナム	ミャンマー	カンボジア	ラオス		インド	バングラデシュ	その他				
				イギリス	フランス	ドイツ																						イタリア	オランダ	その他	
来訪者	17	3	8	12	1	2	1	2	3	1	4	16	8	1		1	33	53	6	7	1	6	15	1		5	5	2	214 (他表敬訪問等188)		
渡航者	188	19	10	37	23	34	8	8	40	23	5	22	17	15	2	4	73	99	15	9	32	27	11	22	7	1	2	3	6	18	780

8

財 政

外部資金等

民間等との共同研究

地域共同研究センター

(件)

年 度	共 同 研 究 区 分			
	A	B	C	計
昭 和 62 年 度	1			1
昭 和 63 年 度	1			1
平 成 元 年 度	1		7	8
平 成 2 年 度	3	4	10	17
平 成 3 年 度	3	10	6	19
平 成 4 年 度	1	11	1	13
平 成 5 年 度	4	10		14
平 成 6 年 度	6	13	1	20
平 成 7 年 度	5	9	2	16
平 成 8 年 度	3	9	5	17
平 成 9 年 度	5	9	10	24
平 成 10 年 度	8	10	5	23
平 成 11 年 度	8	10	3	21
平 成 12 年 度	9	22	3	34
平 成 13 年 度	13	60	5	78
平 成 14 年 度	12	83	4	99
計	83	260	62	405

(注) 研究区分A：民間企業等から共同研究者と研究経費又は研究経費のみを受け入れると共に、大学も研究経費の一部を負担するもの。
 研究区分B：民間企業等から共同研究者と研究経費又は研究経費のみを受け入れるもの。
 研究区分C：民間企業等から共同研究者のみ受け入れるもの。

科学研究費補助金

(平成15年度)

研 究 種 目	内定件数	配分予定額(千円)
特定領域研究 (1)	2	9,500
特定領域研究 (2)	24	119,100
基盤研究(S)	4	67,100
基盤研究(A) (2)	4	49,100
基盤研究(B) (1)	6	24,100
基盤研究(B) (2)	70	323,600
基盤研究(C) (1)	2	1,700
基盤研究(C) (2)	147	209,100
萌芽研究	30	43,500
若手研究(A)	3	21,500
若手研究(B)	81	117,900
合 計	373	986,200

平成15年5月現在

奨学寄附金

(平成14年度)

件 数	金 額(千円)
1,744	751,588

受託研究経費

(平成14年度)

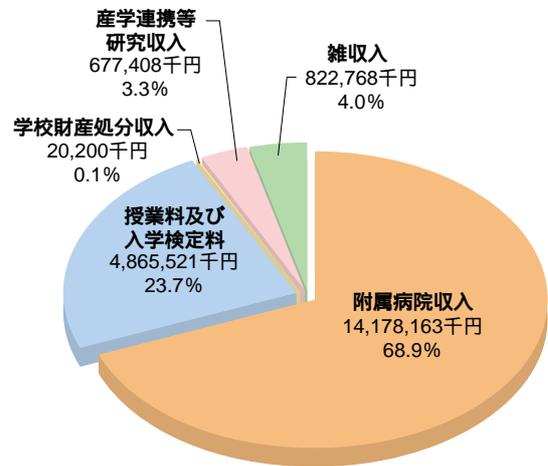
件 数	金 額(千円)
87	194,393

歳入歳出決算額

(歳入)

(平成14年度)

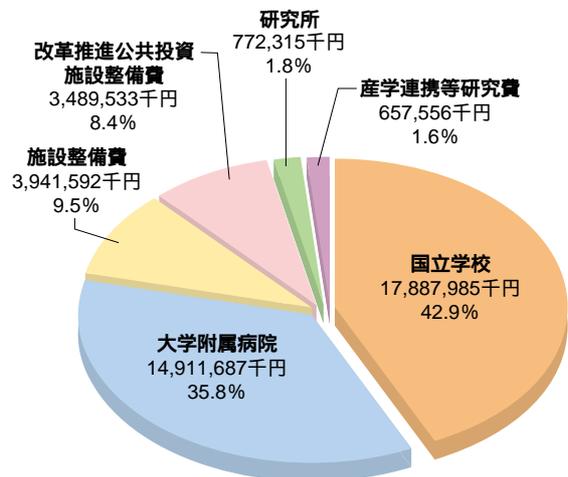
科目	決算額(円)
附属病院収入	14,178,163,008
授業料及び入学検定料	4,865,521,400
学校財産処分収入	20,200,000
産学連携等研究収入	677,407,856
雑収入	822,767,970
計	20,564,060,234



(歳出)

(平成14年度)

科目	決算額(円)
国立学校	17,887,985,148
大学附属病院	14,911,686,845
研究所	772,314,885
産学連携等研究費	657,556,109
施設整備費	3,941,591,750
改革推進公共投資施設整備費	3,489,533,300
計	41,660,668,037



財政

9

公開講座

公開講座実施状況（平成5年度～平成15年度）

（件）

開設部局	年度	平成5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
教 育 学 部		2	4	4	4	3	3	2	2	2	4	4
経 済 学 部		3	1	2	3	4	4	4	4	3	2	3
医 学 部			1	2							1	1
歯 学 部		1	1	1	2	1	2	2	1	2	1	1
薬 学 部		1	1	1		1	1	1	2	1	1	1
工 学 部		1	1	2	1	2	2	1	2	1	1	2
環 境 科 学 部		-	-	-	-		2	1	1	1	1	3
水 産 学 部		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
教 養 部			2			1	-	-	-	-		
熱 帯 医 学 研 究 所		1	1	1			1	1	1	1		
附 属 図 書 館				1		1						
医 学 部 附 属 病 院								1	1	1	1	1
商 科 短 期 大 学 部		1	1	1					-	-		
医 療 技 術 短 期 大 学 部		7	6	5	4	2	1	1	1	1		
保 健 管 理 セ ン タ ー												
総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー						1	1	1	1	2	1	2
生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー			5	2	1	1	4	3	5	3	2	2
全 学												
開 設 講 座 数 合 計		18	25	23	16	18	22	19	22	19	16	21
受 講 者 数 合 計		984	1,057	930	772	853	721	830	771	717	377	



公開講座風景

10 併設短期大学

医療技術短期大学部

学部・学科

学 部		専 攻 科		
学 部	学 科	区 分	専 攻	修 業 年 限
医療技術短期大学部	看護学科	医療技術短期大学部	助産学特別専攻	1 年
	理学療法学科			
	作業療法学科			

学 生 数

平成15年5月1日現在 (人)

区 分	学 科	収容定員	現 員			計
			1 年 次	2 年 次	3 年 次	
医療技術短期大学部	看護学科	80	0	1	83	84
	理学療法学科	20	0	1	21	22
	作業療法学科	20	0	0	24	24
	計	120	0	2	128	130

専 攻 科

区 分	専 攻 科	入 学 定 員	現 員	修 業 年 限
医療技術短期大学部	助産学特別専攻	20	20	1 年

研究生・科目等履修生

区 分	研 究 生	科 目 等 履 修 生
医療技術短期大学部	0	0

平成15年度入学状況

学 部 (平成14年度から学生募集停止)

専 攻 科

区 分	専 攻 科	入 学 定 員	入 学 志 願 者	入 学 者
医療技術短期大学部	助産学特別専攻	20	90	20

平成14年度卒業生 (修了者) 及び進路状況

学部卒業生

学 部	平成14年度	累 計
医療技術短期大学部	116	1,730

専攻科修了者

専 攻 科	平成14年度	累 計
助産学特別専攻	20	318

学部卒業者の就職等状況

区 分	就 職 決 定 者					自 進 学 校 等	計
	大 企 業	中 小 企 業	官 公 庁	そ の 他	小 計		
医療技術短期大学部			14	70	84	32	116



医療技術短期大学部

11 キャンパス

土地・建物・船舶

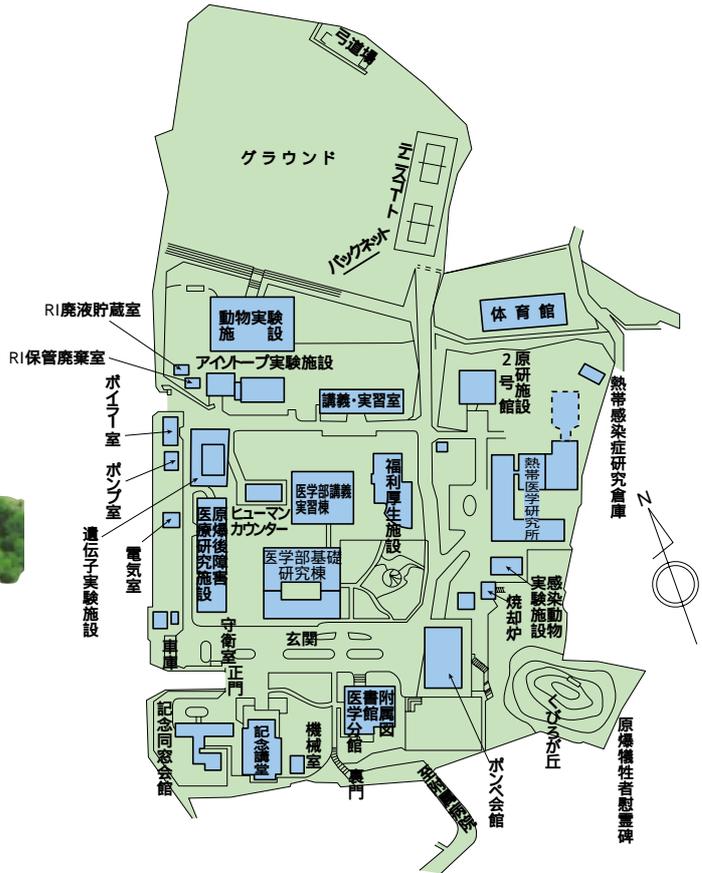
土地・建物

平成15年5月1日現在

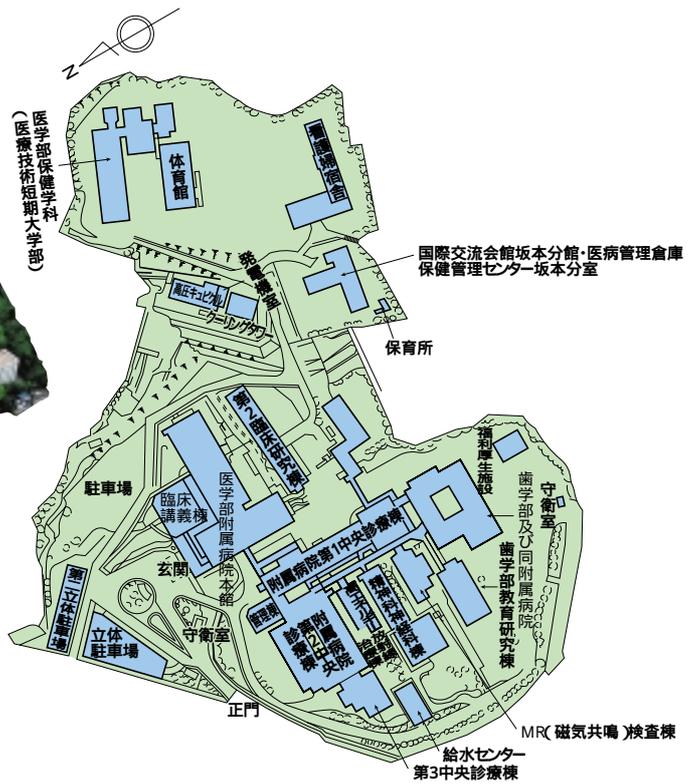
施設等	所在地	土地 (㎡)		建物 (㎡)
		国有	借用	国有
事務局，教育学部，附属教育実践総合センター，薬学部，工学部，環境科学部，水産学部，附属図書館，医歯薬学総合研究科，附属薬用植物園，総合教育研究棟，保健管理センター，総合情報処理センター，地域共同研究センター，生涯学習教育研究センター，留学生センター，機器分析センター，大学教育機能開発センター，アドミッションセンター，環境保全センター，学生会館	長崎市文教町1番14号	187,125		<u>38,157</u> 113,328
職員集会所	長崎市上西山町11番1号	867		<u>228</u> 398
臨海研修所	西彼杵郡時津町子々川郷	1,425		<u>442</u> 743
教育学部附属小学校，附属中学校，附属幼稚園	長崎市文教町4番23号	51,185		<u>8,648</u> 16,510
教育学部附属養護学校	長崎市柳谷町42-1	12,529		<u>2,218</u> 3,421
経済学部	長崎市片淵4丁目2番1号	53,637		<u>6,969</u> 16,785
医学部，熱帯医学研究所，附属熱帯性病原体感染動物実験施設，附属熱帯感染症研究センター，医歯薬学総合研究科，附属原爆後障害医療研究施設，アイソトープ実験施設，動物実験施設，遺伝子実験施設	長崎市坂本1丁目12-4	93,025		<u>15,408</u> 47,981
医学部納骨堂	長崎市銭座町4番59号		47	<u>13</u> 13
医学部附属病院，看護婦宿舎，歯学部，歯学部附属病院，医歯薬学総合研究科，医療技術短期大学部	長崎市坂本1丁目7-1	82,143		<u>24,378</u> 114,129
医歯薬学総合研究科附属薬用植物園	西彼杵郡野母崎町野母1321	15,824		<u>494</u> 494
水産学部附属海洋資源教育研究センター	長崎市多以良町1551-7	10,900		<u>902</u> 1,490
" (旧野母水産実験所)	西彼杵郡野母崎町野母字小田714-1	5,615		<u>0</u> 0
公務員宿舎		8,901		<u>1,964</u> 7,927
九州地区国立大学島原共同研修センター	島原市礪石原町甲1201	120,286		<u>1,933</u> 2,494
国際交流会館	長崎市西町12-1	3,095		<u>621</u> 2,139
西町課外活動施設		3,016		—
外国人教師宿舎		4,141		<u>48</u> 115
計		653,714	47	<u>102,423</u> 327,967
合計		653,761		

所属	船名	構成	トン数	馬力	備考
水産学部	鶴洋丸	鋼船	1,044.38	2,800	教官，その他の船員21名，学生収容人員42名
	長崎丸	鋼船	842.00	2,800	" 21名，" 40名
	鶴水	鋼船	27.80	430	その他の船員3名，収容人員15名
学務部	琴風	F R P		140	救助艇，乗船定員10名

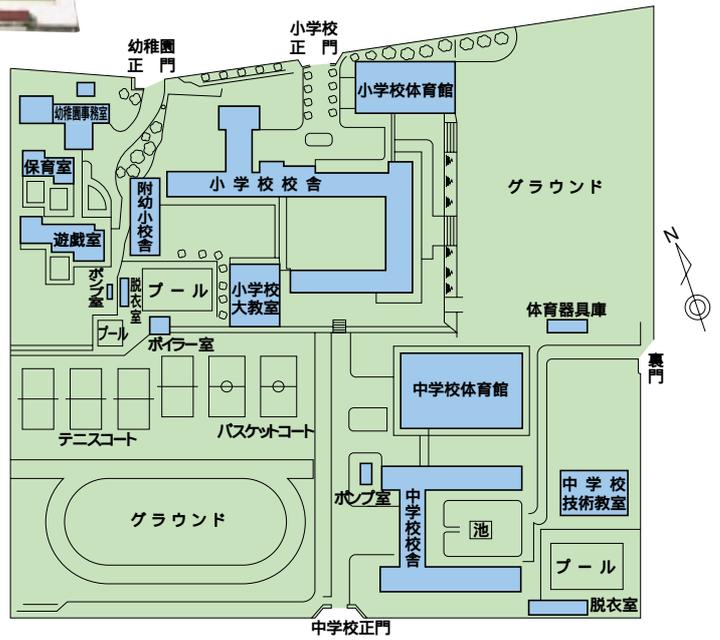
坂本地区（一）



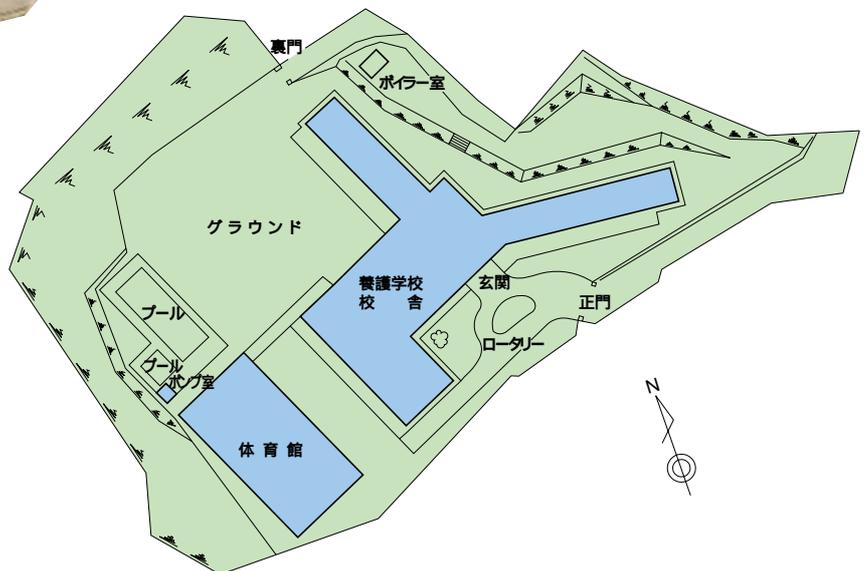
坂本地区（二）



附属学校（小学校・中学校・幼稚園）



附属学校（養護学校）



キャンパス

部局等所在地一覧

部局の名称	所在地	電話番号
・事務局	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2016 (総務課) 095 819 2031 (人事課) 095 819 2038 (研究協力課) 095 819 2042 (国際交流課) 095 819 2050 (主計課) 095 819 2149 (経理課) 095 819 2151 (契約室) 095 819 2072 (学務課) 095 819 2103 (学生生活課) 095 819 2111 (入試課) 095 819 2124 (留学生課) 095 819 2131 (企画課) 095 819 2136 (建築課) 095 819 2141 (設備課) 095 819 2214
・保健管理センター	〃 〃	〃
・先導生命科学研究支援センター	〃 〃	〃
・アイソトープ実験施設	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	095 849 7150
・動物実験施設	〃 〃	095 849 7191
・遺伝子実験施設	〃 〃	095 849 7134
・総合情報処理センター	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2222
・地域共同研究センター	〃 〃	095 819 2231
・生涯学習教育研究センター	〃 〃	095 819 2234
・留学生センター	〃 〃	095 819 2243
・機器分析センター	〃 〃	095 819 2413
・大学教育機能開発センター	〃 〃	095 819 2076
・アドミッションセンター	〃 〃	095 819 2113
・環境保全センター	〃 〃	095 819 2246
・国際交流会館	〒852 8043 西町 12 1	095 845 0201
・国際交流会館坂本分館	〒852 8102 坂本 1 丁目 7 1	095 849 7519
・臨海研修所	〒851 2111 西彼杵郡時津町子々川郷	095 882 8301
・教育学部	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2263
・教育学部附属教育実践総合センター	〃 〃	095 819 2291
・教育学部附属小学校	〒852 8131 文教町 4 23	095 819 2272
・教育学部附属中学校	〃 〃	095 819 2278
・教育学部附属養護学校	〒852 8046 柳谷町 42 1	095 845 5646
・教育学部附属幼稚園	〒852 8131 文教町 4 23	095 819 2288
・経済学部	〒850 8506 片淵 4 丁目 2 1	095 820 6300
・医学部	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	(番号案内) 095 849 7000
・保健学部	〒852 8520 坂本 1 丁目 7 1	(番号案内) 095 849 7900
・医学部附属病院	〒852 8501 〃	(番号案内) 095 849 7200
・歯学部	〒852 8588 〃	(番号案内) 095 849 7600
・歯学部附属病院	〃 〃	〃
・薬学部	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2413
・工学部	〃 〃	095 819 2489
・環境科学部	〃 〃	095 819 2713
・水産学	〃 〃	095 819 2793
・水産学部附属練習船鶴洋丸	〃 〃	090 3022 2044
・水産学部附属練習船長崎丸	〃 〃	090 3022 2043
・水産学部附属海洋資源教育研究センター	〒851 2213 多以良町 1551 7	095 850 7311
・熱帯医学研究所	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	(番号案内) 095 849 7800
・熱帯医学研究所附属熱帯病原体感染動物実験施設	〃 〃	〃
・熱帯医学研究所附属熱帯感染症研究センター	〃 〃	〃
・附属図書館	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2193
・生産科学研究科	〃 〃	095 819 2491
・医歯薬学総合研究科	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	(番号案内) 095 849 7000
	〒852 8588 坂本 1 丁目 7 1	(番号案内) 095 849 7600
	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2413
・附属原爆後障害医療研究施設	〒852 8523 坂本 1 丁目 12 4	(番号案内) 095 849 7000
・附属薬用植物園 [文教地区]	〒852 8521 文教町 1 14	095 819 2413
・附属薬用植物園 [野母崎地区]	〒851 0505 西彼杵郡野母崎町野母 1321	095 893 0280
・医療技術短期大学部	〒852 8520 坂本 1 丁目 7 1	(番号案内) 095 849 7900
・九州地区国立大学島原共同研修センター	〒855 0026 島原市礪石原町甲 1201	0957 64 2201

長崎大学位置図

長崎県



臨海研修所

水産学部附属海洋資源教育研究センター
 教育学部附属養護学校
 教育学部附属小学校，附属中学校，附属幼稚園
 事務局，教育学部，附属教育実践総合センター，
 薬学部，工学部，環境科学部，水産学部，
 附属図書館，生産科学研究科，
 医歯薬学総合研究科，附属薬用植物園，
 保健管理センター，
 総合情報処理センター，地域共同研究センター，
 生涯学習教育研究センター，留学生センター，
 大学教育機能開発センター，
 アドミッションセンター，環境保全センター

医学部，熱帯医学研究所，
 附属熱帯性病原体感染動物実験施設，
 附属熱帯感染症研究センター，医歯薬学総合研究科，
 附属原爆後障害医療研究施設
 先端生命科学研究支援センター
 医学部附属病院，歯学部，歯学部附属病院，
 医歯薬学総合研究科，医療技術短期大学部
 経済学部
 医歯薬学総合研究科附属薬用植物園
 九州地区国立大学島原共同研修センター

キャンパス

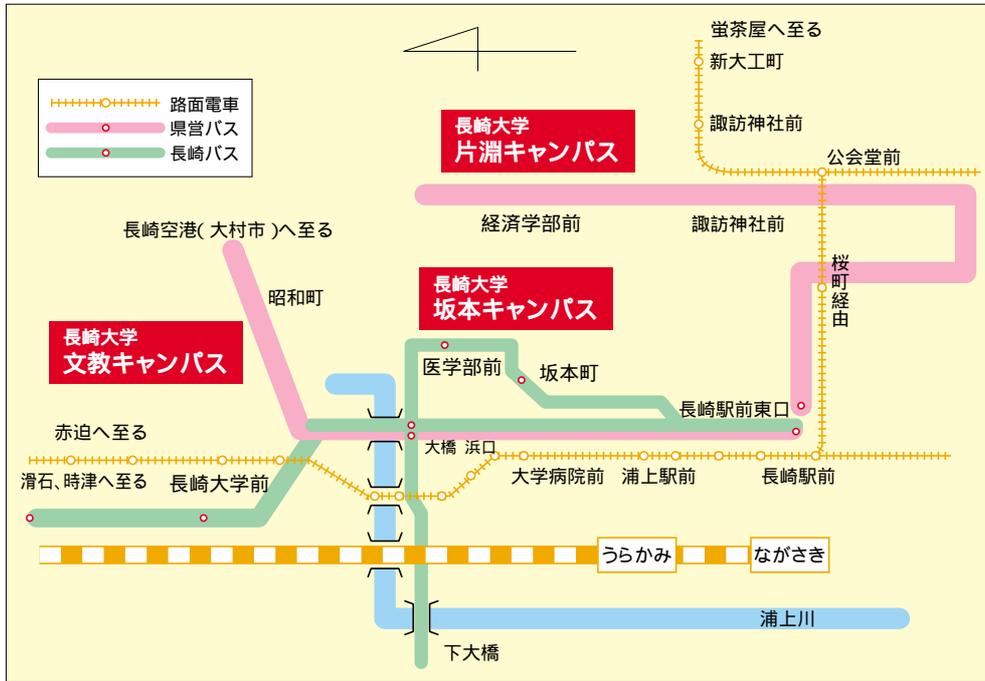
長崎市



経済学部
 医学部附属病院，歯学部，歯学部附属病院，
 医歯薬学総合研究科，医療技術短期大学部
 医学部，熱帯医学研究所，
 附属熱帯性病原体感染動物実験施設，
 附属熱帯感染症研究センター，
 医歯薬学総合研究科，附属原爆後障害医療研究施設，
 先端生命科学研究支援センター

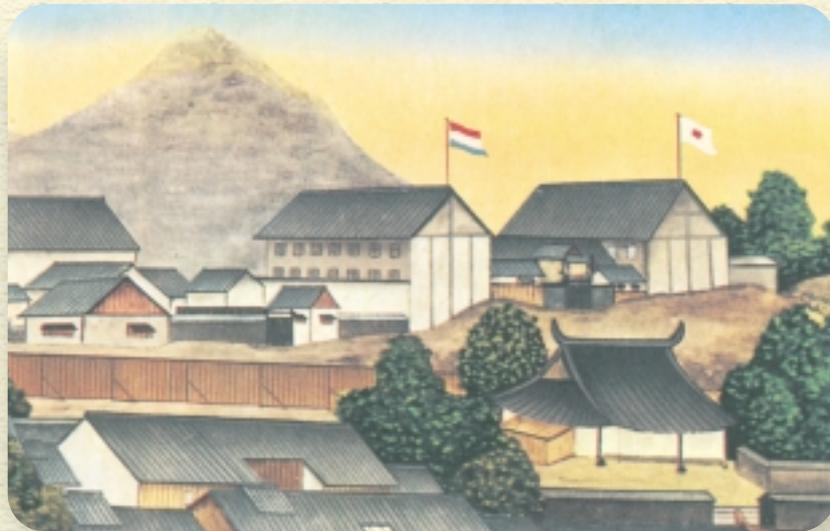
事務局，教育学部，附属教育実践総合センター，
 薬学部，工学部，環境科学部，水産学部，
 附属図書館，生産科学研究科，
 医歯薬学総合研究科，附属薬用植物園，
 保健管理センター，
 総合情報処理センター，地域共同センター，
 生涯学習教育研究センター，留学生センター，
 機器分析センター，大学教育機能開発センター，
 アドミッションセンター，環境保全センター
 附属小学校，附属中学校，附属幼稚園
 国際交流会館
 附属養護学校

長崎大学交通案内



利用交通機関

- | | |
|--|--|
| <p>文教キャンパス</p> <p>教育学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部・附属図書館・事務局等
(長崎市文教町1-14)</p> | <p>路面電車 ▶ 『長崎駅前』から「赤迫」行き、『長崎大学前』下車，徒歩約1分</p> <p>バス ▶ 『長崎駅前』から長崎バス1番系統「滑石」，「時津」行き，『長崎大学前』下車，徒歩約1分</p> <p>航空機 ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(浦上経由)，『昭和田』(約50分)下車，徒歩約10分</p> |
| <p>片淵キャンパス</p> <p>経済学部
(長崎市片淵4丁目2-1)</p> | <p>路面電車 ▶ 『長崎駅前』から「蛸茶屋」行き、『諏訪神社前』又は『新大工町』下車，徒歩約10分</p> <p>バス ▶ 『長崎駅前東口』から県営バス「循環」，「立山」，「東高下」，「浜平」，「西山木場」行き，『経済学部前』下車，徒歩約1分</p> <p>航空機 ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(諏訪神社経由)，『諏訪神社前』(約50分)下車，徒歩約15分</p> |
| <p>坂本キャンパス1</p> <p>医学部・熱帯医学研究所等
(長崎市坂本1丁目12-4)</p> | <p>路面電車 ▶ 『長崎駅前』から「赤迫」行き，『浜口町』下車，徒歩約10分</p> <p>バス ▶ 『長崎駅前』から長崎バス8番「下大橋(医大経由)」行き，『医学部前』下車，徒歩約1分</p> <p>航空機 ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(浦上経由)，『浦上駅前』(約55分)下車，徒歩約15分</p> |
| <p>坂本キャンパス2</p> <p>医学部附属病院・歯学部・歯学部附属病院・医療技術短期大学部
(長崎市坂本1丁目7-1)</p> | <p>路面電車 ▶ 『長崎駅前』から「赤迫」行き，『大学病院前』下車，徒歩約5分</p> <p>バス ▶ 『長崎駅前』から長崎バス8番「下大橋(医大経由)」，行き，『坂本町』下車，徒歩約1分</p> <p>航空機 ▶ 長崎空港(大村市)から長崎方面行きバス(浦上経由)，『浦上駅前』(約55分)下車，徒歩約10分</p> |



長崎養生所のスケッチ(附属図書館医学分館)

医学部附属病院の前身である我国最初の洋式病院(120病床) 文久元年(1861年) 8月16日開院



平成15年度 長崎大学概要

編集発行 長崎大学総務部総務課

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL 095-819-2014

Homepage <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>